平成29年度

学生による授業評価 アンケート実施結果報告書

―授業の質的向上と発展を目指して―



≪青葉山コモンズから仙台市内にまたがる虹の架け橋≫

東北大学大学院農学研究科·農学部 評価室

目 次

はじ	80(C	1
Ι.	学生による農学部の授業評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
-	"ンケートの実施方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2. ア	アンケートの集計結果の分析(講義)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
1)	アンケート項目	
2)	集計結果、集計表、感想と意見	
	・集計結果の分析概要と集計表	
	・全科目の集計結果と集計表	
	・前回の授業評価との比較	
3. <u>ፑ</u>	アンケートの集計結果の分析(実験・実習)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
1)	アンケート項目	
2)	集計結果、集計表、感想と意見	
	・集計結果の分析概要と集計表	
	・全科目の集計結果と集計表	
	・前回の授業評価との比較	
4. 耄	· 参考資料 ······	25
1)	東北大学農学部の講義に関するアンケート用紙	
	東北大学農学部の実験・実習に関するアンケート用紙	
2)	授業評価実施科目表(科目別受講者数およびアンケート回収率)	
3)	「学生諸君へ」農学部の学生による授業評価の実施について	
	「学生諸君へ」農学部の学生による実験・実習評価の実施について	
4)	「授業担当教員」学生による授業評価の実施について	
,	「実験・実習担当教員」学生による実験・実習評価の実施について	
5)	「農学部授業担当教員」「学生による授業評価」に関する意見等について	
٥,	「農学部実験・実習担当教員」「学生による実験・実習評価」に関する意見等につい	いて
		`

Ⅱ .5	学生による農学研究科の授業評価 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	34
•	ンケートの実施方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	34
		35
	アンケート項目	
2)	集計結果、集計表、感想と意見	
	・集計結果の分析概要と集計表	
	・全科目の集計結果と集計表	
	・前回の授業評価との比較	
3. 耄	参考資料·····	44
1)	東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート用紙(2学期)	
2)	授業評価実施科目表(科目別受講者数およびアンケート回収率)	
3)	「学生諸君へ」農学研究科の学生による授業評価の実施について	
4)	「授業担当教員」農学研究科学生による授業評価の実施について	
5)	「農学研究科授業担当教員」「大学院学生による授業評価」に関する意見等について	

はじめに

農学研究科・農学部での授業評価は、学生による授業評価を平成10年度の2学期と同11年度 1学期に初めて実施され、同15年度以降は毎年実施しております。毎年実施されるようになって 平成29年度で15年目となります。本報告書は平成29年度の回答結果を平成30年度にまとめ たものです。報告書のとりまとめは1年遅れとなります。

授業評価の直接的な目的は日常の授業の質的向上です。そして、その評価結果は大学の普段の活動状況に関する説明責任を果たすための資料になっています。

2020年度には第3期中期目標期間(2016年度から2021年度)に係る業務の実績に関する4年目終了時評価が行われます。そのために平成31年度に作成する現況調査表には「学生による授業評価」を引用して判断基準とします。

平成26年度実施の大学機関別認証評価では、「単位の実質化がなされているか」の評価項目について「予習・復習・関連学習時間の増加・確保が望まれる(学部・大学院)」との指摘を受けております。また、授業評価アンケート結果を公開することが求められています。

農学研究科・農学部において「学生による授業評価アンケート実施結果報告書」は昨年度まで冊子体で配布しておりました。今回の報告書からは統計的分析データを PDF 化して農学部・農学研究科 HP で公開することといたしました。また、次年度からは WEB マーケティングツールを利用したスマートフォンによるアンケート実施を予定しております。

農学研究科・農学部は平成28年度秋から冬にかけて雨宮キャンパスから青葉山新キャンパスへ移転しました。雨宮キャンパスでの授業最終日は平成28年12月22日でした。平成29年4月からは青葉山新キャンパスでの講義が始まりました。5月15日には青葉山新キャンパスの開所式が行われました。本報告書は青葉山新キャンパスでの講義における最初の報告書となります。青葉山コモンズには295人収容の大講義室、99人収容の講義室3室、72人収容の講義室4室、36人収容の講義室3室あり、全講義室にプロジェクターとスクリーンが設置され、オーディオ設備も充実しました。Wi-Fiも使えます。雨宮キャンパスでの講義に比べ、「学ぶ環境」が格段に改善され、授業の質の向上と発展にもつながっていると思います。

最後に、学生による授業評価に協力を頂いた学生諸君と教員の皆様、同評価のための事務作業担当者、並びに評価報告書を取りまとめられた専門委員会の方々に謝意を表します。

平成31年3月

評価室長 鳥山欽哉

I.学生による農学部の授業評価

I. 学生による農学部の授業評価

1. アンケートの実施方法

1) 実施概要

学生による農学部の授業評価は、農学部における専門教育を受講している1年生、2年生、3年生および4年生を対象とした。

2) 実施方針

- (1) 実施は平成29年度に行われた農学部の講義と実験・実習を対象とした。
- (2) 調査の実施は教員の主体性を尊重した。
- (3) アンケート調査は、2単位の授業では平成29年6月下旬と平成30年1月に実施し、1単位の授業では終了時に実施した。実験・実習については各授業の終了時に実施した。

3) アンケート作成

- (1) 授業評価実施に関する趣旨説明を掲示するとともにアンケート用紙にも記載して、学生に対して真摯な対応を求めた。
- (2) 各設問に対する回答は、4段階評価で行った。

4) 実施方法の概要

- (1) 講義については、平成29年6月下旬および平成30年1月の各セメスター終了時の授業時間 にアンケート用紙を配布し、回収は学生によって行われた。実験・実習については、各授業の 終了時に実施した。
- (2) 回収されたアンケート用紙は、学生が封をし、教務係に提出した。
- (3) 教務係では、回収アンケート用紙の学生の氏名部分を切り取り、業者に集計を依頼した。
- (4) 教員には、担当の授業に関する集計結果と全科目平均値集計および回収アンケート用紙を手渡し、アンケート集計結果に対する感想・意見を依頼した。
- (5) 実施対象授業科目ならびにアンケート回答数

平成 29 年度 1 学期は 90 科目(内、実験・実習は 19 科目)、2 学期は 72 科目(内、実験・実習は 11 科目)で実施された。講義の履修届者数は 1 学期 2,863 名、2 学期 1,963 名、アンケート延べ回答者数は 1 学期 2,515 名で回収率は 87.8%、2 学期 1,687 名で回収率は 85.9% であった。

実験・実習の履修届者数は1学期530名、2学期292名、アンケート延べ回答者数は1学期529名で回収率は99.8%、2学期292名で回収率は100.0%であった。

2.アンケートの集計結果の分析(講義)

集計は1学期と2学期にわけて行ったが、分析は両者をまとめつつ、或は比較しながら行った。 集計結果は、授業評価集計表としてまとめた。また、各質問事項の平均値は、分かりやすいように レーダーチャートで表した。

1) アンケート項目

設問①:いまこの場で受講している講義の種類

設問②:この講義にどの程度出席しましたか。

設問③:出席率等から、この授業を評価する資格があると思いますか。

設問④:この講義について予習・復習をしましたか。

設問⑤:この講義に興味を持って熱心に取り組んだと思いますか。

設問⑥:授業概要(シラバス)は有用でしたか。

設問⑦:授業概要(シラバス)にそって授業が行われていましたか。

設問⑧:内容の系統的整理などの講義に関する準備はよくされていたと思いますか。

設問⑨:講義について教員の熱意を感じましたか。

設問⑩:講義を進める速度は適切でしたか。

設問⑪:説明は良く聞き取れましたか。

設問⑫:板書等の文字は、読み易かったですか。

設問⑬:視聴覚・情報機器が利用された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。

設問(4):資料の配布や教材の使用・模擬実験があった場合、講義内容の理解に役立ちましたか。

設問(頃:教科書または参考書が紹介された場合、予習や復習に役立ちましたか。

設問⑩:宿題(レポートを含む)や演習が課された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。

設問⑰:この講義のオフィスアワーは利用上適切に設定されていますか。

設問⑧:講義内容はどの程度理解したと思いますか。

設問(19:講義の難易度は適切でしたか。

設問②:総合的に判断して、この講義に満足しましたか。

2) 集計結果、集計表、感想と意見

○集計結果の分析概要と集計表

各設間に対する集計結果の分析概要は以下の通りである。

設問①:必修か選択かを問う設問である。必修の割合は、1 学期 73%、2 学期 60%であった。

設問②、③: 出席割合と評価資格があると思うかを問う設問である。出席については 90%以上出席が 1 学期は 86%であったが、2 学期は約 80%とやや低かった。評価資格については、十分あると答えた者の 割合が 1 学期では 73%、2 学期では 67%と控えめである。

設問④、⑤:講義に対する学生の取り組みを問う設問である。予習・復習については、「良くした」と「した」の合計が 1 学期 39%、2 学期 46%であった。1 学期は 40%を切る値となったため、もう少し予習・復習を意識付ける必要がある。取り組みについては、「極めて熱心に取り組んだ」と「熱心に取り組んだ」の合計は 1 学期 73%、2 学期 72%であり、熱心さがうかがえた。一方、あまり熱心に取り組んでいない学生が両学期とも 2~3 割程度もいることにも注意する必要がある。

設問⑥、⑦:シラバスの有用性と、その実際の講義との対応を問う設問である。シラバスの有用性については、「大いに有用だった」と「有用だった」の合計は、1 学期が 81%、2 学期は 83%と高く、また 1 学期、2 学期ともに 90%を越える学生がシラバスに沿って講義が行われていると回答している。したがって、シラバスは適切に作成され、利用されているようである。

設問®、⑨:教員の講義に対する準備や熱意を問う設問である。1 学期、2 学期とも約 90%の学生が 講義内容は準備されていたとしている。また教員の熱意に関しても、1 学期、2 学期ともに約 95%の学生 が熱意を感じている。

設問⑩~⑫:教員の講義の仕方に関する設問である。講義を進める速度に関して、1 学期、2 学期ともに 90%を越える学生がほぼ適切だと感じている。また、1 学期、2 学期ともに 85%を越える学生が講義を「よく聞き取れた」あるいは「聞き取れた」としているが、1 学期には 15%、2 学期には 12%の学生が「聞き取りにくかった」あるいは「聞き取れなかった」としており、マイクを使うなど改善が必要と考えられた。板書については、両学期とも約 80%の学生が読み易かったと回答しているが、一方で、読みにくかったとしている学生が両学期において 17~18% おり改善が必要である。

設問③~⑤: 教材の有用性に関する設問である。視聴覚・情報機器に関しては、有効だったと感じている学生は1学期が72%、2学期が78%であった。有効でないとしている学生は両学期を通じて3~4%と少なかった。配布資料や模擬実験についても役立ったと感じている学生は両学期を通じて80%以上であった。教科書や参考書が講義の理解に役立ったとする学生は両学期とも50%程度と低かったが、これは未記入が多いことからも、教科書や参考書の利用が特に推奨されなかったか必須ではなかったためと考えられる。実際、役に立たなかったとの回答は5%程度であったため、教科書や参考書は有効であったと考えられる。

設問⑥、⑦:宿題・演習の有効性とオフィスアワーの設定に関する設問である。宿題・演習に関しては、 両学期とも約60%の学生が有効性を感じており、役に立たなかったとの回答は両学期とも4%と低かった。 未記入が両学期とも4割弱と高いことから、宿題・演習を課されていなかったあるいは課されても行わなかったことが考えられ、宿題・演習を学生が行った場合の有効性は高い。オフィスアワーの設定については、 両学期とも約80%の学生が概ね適切であると回答している一方で、両学期を通じて20%弱の学生が未 記入であった。適切でないとしている学生はわずかであったことからもオフィスアワーの設定については 問題ないと考えられるが、十分に認識されていない可能性もある。

設問®、⑨:講義の理解度と難易度を問う設問である。理解度については、両学期とも80%を超える学生が理解できたと感じていた。難易度についても、両学期とも約90%の学生が適切であると感じている。また難易度が適切でないとした学生は10%未満であり難易度の設定に問題はないと考えられる。両学期を通じて15~16%の学生が理解できなかったとしており、学生の努力を促すとともに、引き続きわかりやすい講義の実施に努めることが求められる。

設問20:講義の満足度を問う設問である。両学期とも90%の学生が満足したと回答している。

設問事項全体の分析を通して、以下に評価の高い点と、改善すべき点についてまとめた。 【評価の高かった点】

- ① 1 学期、2 学期ともに 90%を越える学生が講義はシラバスに沿って講義が行われていると回答して おり、シラバスは適切に作成され、利用されているようである。
- ② 約 90%の学生が講義内容は準備されていたとし、講義を進める速度に関しても 90%を越える学生 がほぼ適切だと感じている。
- ③ 90%を越える学生が教員の講義を行う姿勢に熱意を感じ、また総合的に満足したと回答した学生も 90%であった。
- ④ 難易度について約90%の学生が適切であると感じ、適切でないとした学生は10%未満であった。

【改善を要する点】

- ① 学生の講義への出席は、例年と比べると必修科目が減る 2 学期において低く、90%以上出席した学生の割合は80%であった。出席について注視する必要がある。
- ② 予習・復習を行った学生が1学期は40%を切る値となったため、もう少し予習・復習を意識付ける必要がある
- ③ 授業にあまり熱心に取り組んでいない学生が引き続き2~3割おり、善処する必要がある。
- ④ 講義の基本となる説明において「聞き取りにくかった」あるいは「聞き取れなかった」とした学生が1割以上で、板書が読みにくかったとした学生が2割弱おり、マイクの使用や明瞭な話し方、読みやすい板書を心がける必要がある。
- ⑤ 難易度の設定には問題はないが、両学期を通じて 15%を超える学生の理解度が低いとしていたことから、学生の努力を促すとともに、よりわかりやすい講義を行うことが求められる。

東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果(平成29年1学期)

時間割コード : AB0000 授業科目名 : 全科目合計 担当教員名 :

質問事項		選択項目	回答	比率 %	
	2	必修	1,839	73.1	①必修·選択
	1	選択	639	25.4	未記入
①いまこの場で受講している		未記入	37	1.5	1
受講している 講義の種類					
	4	90%以上	2,163	86.0	②出席 - 2_ ¹
	3	80-90%	221	8.8	
②この講義に どの程度出席	2	70-80%	76	3.0	3
しましたか。	1	70%以下	54	2.1	. ()
		未記入	1	0.0	4
					-
	4	充分ある	1,829	72.7	③評価資格 - 1
○□ #####.	3	一応ある	579	23.0	2
③出席率等から、この授業を評価する資格	2	あまりない	81	3.2	3
があると思いま すか。	1	全くない	25	1.0	4
		未記入	1	0.0	
	4	よくした	318	12.6	④予習・復習_{C未記入}
th		した	658	26.2	4
④この講義について予習・復習をしました		あまりしなかった	955	38.0	
か。	1	全くしなかった	581	23.1	3
		未記入	3	0.1	2

東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果(平成29年1学期) 時間割コード : AB0000

授業科目名 : 全科目合計

質問事項		選択項目	回答	比率 %	
	4	極めて熱心に取り組んだ	491	19.5	⑤取組み - 未記入
	3	熱心に取り組んだ	1,355	53.9	1
⑤この講義に 興味を持って	2	あまり熱心に 取り組まなかった	609	24.2	2 4
熱心に取り組 んだと思います か。	1	全く熱心に 取り組まなかった	58	2.3	
		未記入	2	0.1	3
	4	大いに有用だった	563	22.4	⑥シラバスの有用性
	3	有用だった	1,462	58.1	1 未記入
⑥授業概要	2	あまり有用でなかった	387	15.4	2 4
(シラバス)は 有用でしたか。	1	有用でなかった	91	3.6	
		未記入	12	0.5	3
	4	行われていた	909	36.1	⑦シラバスとの整合性
	3	だいたい行われていた	1,431	56.9	未記入
⑦ 授 業 概 要 (シラバス)に そって授業が	2	あまり行われていなかった	134	5.3	4
行われていまし たか。	1	全く行われていなかった	22	0.9	3
		未記入	19	0.8	
	4	よくされていた	1,036	41.2	⑧整理・準備
	3	されていた	1,206	48.0	1 未記入
⑧内容の系統 的整理などの 講義に関する	2	あまりされていなかった	237	9.4	2
準備はよくされ ていたと思いま すか。	1	極めて不十分だった	33	1.3	4
y /J³₀		未記入	3	0.1	3

東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果(平成29年1学期) 時間割コード : AB0000 授業科目名 : 全科目合計

担当教員名 :

質問事項		選択項目	回答	比率 %		
	4	大いに感じた	1,169	46.5	⑨熱意	1 +*11
	3	感じた	1,201	47.8		未記入
⑨講義について教員の熱意	2	あまり感じなかった	124	4.9		
を感じました か。	1	全く感じなかった	18	0.7		3
		未記入	3	0.1		
	4	適切だった	1,157	46.0	⑩講義速度	
	3	概ね適切だった	1,182	47.0		1 未記入
⑪講義を進め	2	あまり適切でなかった	155	6.2		
る速度は適切でしたか。	1	全く適切でなかった	17	0.7		3 4
		未記入	4	0.2		
	4	よく聞き取れた	1,066	42.4	⑪説明	,一大記入
	3	聞き取れた	1,076	42.8		2
① 説明は良く聞き取れました	2	聞き取りにくかった	329	13.1		4
か。	1	聞き取れなかった	41	1.6		3
		未記入	3	0.1		
	4	大変読み易かった	843	33.5	迎板書	
	3	読み易かった	1,196	47.6		1 未記入
②板書等の文	2	読みにくかった	382	15.2		2
字は、読み易 かったですか。	1	非常に読みにくかった	59	2.3		4
		未記入	35	1.4		3

東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果(平成29年1学期) 時間割コード : AB0000 授業科目名 : 全科目合計

質問事項		選択項目	回答	比率 %	
	4	大いに役立った	965	38.4	⑬視聴覚·情報機器
	3	役立った	850	33.8	
③視聴覚・情報機器が利用された場合、	2	あまり役立たなかった	79	3.1	未記入
講義内容の理解に役立ちま したか。	1	全く役立たなかった	17	0.7	1 4
S7CN 8		未記入	604	24.0	3
	4	大いに役立った	1,190	47.3	④資料·教材
⑭資料の配布	3	役立った	937	37.3	1 未記入
や 教 材 の 使 用・模擬実験 があった場合、	2	あまり役立たなかった	102	4.1	2
講義内容の理 解に役立ちま	1	全く役立たなかった	16	0.6	3 4
したか。		未記入	270	10.7	
	4	大いに役立った	526	20.9	⑤教科書・参考書
	3	役立った	679	27.0	
⑤教科書または参考書が紹介された場	2	あまり役立たなかった	97	3.9	4
合、予習や復 習に役立ちま したか。	1	全く役立たなかった	26	1.0	未記入 3
CICN-0		未記入	1,187	47.2	
	4	大いに役立った	699	27.8	□ C2 (1) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4
	3	役立った	819	32.6	
⑯宿題(レポートを含む) や演習が課された	2	あまり役立たなかった	83	3.3	4
場合、講義内 容の理解に役	1	全く役立たなかった	15	0.6	未記入 **
立ちましたか。		未記入	899	35.7	3
					2

東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果(平成29年1学期) 時間割コード : AB0000 授業科目名 : 全科目合計

担当教員名 :

質問事項		選択項目	回答	比率 %	
	4	適切である	947	37.7	
	3	ほぼ適切である	1,040	41.4	
⑪この講義の オフィスアワー	2	あまり適切でない	63	2.5	1 未記入
は利用上適切 に設定されて いますか。	1	適切でない	17	0.7	4
		未記入	448	17.8	3
					- Company
	4	よく理解できた	577	22.9	③理解 1 ← 未記入
	3	理解できた	1,541	61.3	
®講義内容はどの程度理解	2	あまり理解できなかった	347	13.8	2 4
したと思います か。	1	全く理解できなかった	32	1.3	
		未記入	18	0.7	3
					_
	4	適切だった	953	37.9	19難易度
	3	概ね適切だった	1,337	53.2	1 2 未記入
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2	あまり適切でなかった	179	7.1	
たか。	1	全く適切でなかった	25	1.0	4
		未記入	21	0.8	
	4	大変満足した	981	39.0	②総合判断
	3	ある程度満足した	1,292	51.4	未記入
②総合的に判断して、この講	2	あまり満足しなかった	192	7.6	
義に満足しまし たか。	1	全く満足しなかった	33	1.3	4
		未記入	17	0.7	, ,

東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果 (平成29年2学期)

時間割コード : AB0000 授業科目名 : 全科目合計 担当教員名 :

質問事項		選択項目	回答	比率 %		
	2	必修	1,010	59.9	①必修・選択	
	1	選択	648	38.4		未記入
①いまこの場で	***************************************	未記入	29	1.7		
受講している 講義の種類						2
	4	90%以上	1,342	79.5	②出席	, 未記入
	3	80-90%	239	14.2		2
②この講義に どの程度出席	2	70-80%	69	4.1		3
とい住及山庙	1	70%以下	35	2.1		
		未記入	2	0.1		4
	4	充分ある	1,126	66.7	③評価資格	- 1
	3	一応ある	479	28.4		2
③出席率等から、この授業を 評価する資格	2	あまりない	67	4.0		
計画する責任 があると思いま すか。	1	全くない	15	0.9		3 4
		未記入	0	0.0		
	4	よくした	227	13.5	④予習・復習	
	3	した	548	32.5		
④この講義に ついて予習・	2	あまりしなかった	670	39.7		1 4
復習をしました か。	1	全くしなかった	242	14.3		2
		未記入	0	0.0		3

東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果(平成29年2学期) 時間割コード : AB0000

授業科目名 : 全科目合計 担当教員名 :

4 極めて熱心に取り組んだ 268 15.9 ⑤取組み 3 熱心に取り組んだ 938 55.6 3 無心に取り組んだ 938 55.6 3 無心に取り組んだ 938 26.0 2 かり組まなかった 438 26.0 2 かり組まなかった 43 2.5 2 未記入 0 0.0 3 有用だった 967 57.3 4 大いに有用だった 435 25.8 ⑥ンラバスの有用性 3 有用だった 967 57.3 1 有用でなかった 40 2.4 2 未記入 25 1.5 3 だいたい行われていた 593 35.2 ⑦シラバスとの整合性 3 だいたい行われていた 966 57.3 3 だいたい行われていなかった 85 5.0 4 行われていまし たって授業が 713 42.3 ⑥整理・準備 3 されていた 713 42.3 ⑥整理・準備 3 されていた 838 49.7 3 されていた 838 49.7 3 されていた 838 49.7 3 されていた 838 49.7 4 よくされていなかった 118 7.0 2 かまりされていなかった 118 7.0 2 かまりされていなかった 118 7.0 2 を発売していたと思います 1 極めて不十分だった 14 0.8	担当教員名	:			+]
(3) この講義に 興味を持って 歌心に取り組んだ 938 55.6 3 熱心に取り組んだ 938 55.6 (3) この講義に 興味を持って 取り組まなかった 438 26.0 未記入 0 0.0 4 大いに有用だった 43 2.5 未記入 0 0.0 (3) 本妻の有用でなかった 220 13.0 (7) ラバス)に 有用でしたか。 1 有用でなかった 40 2.4 未記入 25 1.5 (7) シラバスとの整合性 3 だいたい行われていた 966 57.3 (7) シラバスとの整合性 3 だいたい行われていた 966 57.3 (7) シラバスとの整合性 3 だいたい行われていなかった 85 5.0 (7) カスンに (7) カスンに (7) カスンに (7) カスンに (7) カスンに (8) 内容の系統 0 整理・準備 3 されていた 3 されていた 713 42.3 (8) 内容の系統 0 整理などの ままに入 3 されていた 713 42.3 (8) 内容の系統 0 整理・準備 3 されていた 838 49.7 (8) 内容の系統 3 されていた 838 49.7 (8) 内容の系統 1 様めて不十分だった 118 7.0 (8) 内容の系統 1 様めて不十分だった 14 0.8	質問事項		選択項目	回答	比率 %	J
3 熱心に取り組んだ 938 55.6 要か心に取り組をかった 438 26.0 女に取り組をかった 43 2.5 未記入 0 0.0 4 大いに有用だった 435 25.8 ⑥シラバスの有用性 3 有用でった 967 57.3 ② おまり有用でなかった 220 13.0 有用でしたか。 1 有用でなかった 40 2.4 未記入 25 1.5 ② おまり行われていた 593 35.2 ③ だいたい行われていた 966 57.3 ② とうバス)に 2 おまり行われていなかった 85 5.0 そってと要素が 行われていまし たか。 未記入 3 2.0 ※配入 3 されていた 713 42.3 ③ 内容の系統 の整義に関する 2 あまりされていなかった 10 0.6 未記入 3 されていた 713 42.3 ③ 内容の系統 2 かまりされていなかった 118 7.0 準備は太されていた 838 49.7 ③ 内容の系統 3 されていた 838 49.7 ② かまりされていなかった 118 7.0 準備は太されていたと思いまし 1 極めて不十分だった 14 0.8 4 様めて不十分だった 14 0.8 4 様めて不十分だった 14 0.8		4	極めて熱心に取り組んだ	268	15.9	•
興味を持って 熱心に取り組 が。		3	熱心に取り組んだ	938	55.6	1
んだと思います 1 全熱心に 取り組まなかった 43 2.5 未記入 0 0.0 3 3 4 大いに有用だった 435 25.8 ⑥シラバスの有用性 3 有用だった 967 57.3 2 1 4 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5	興味を持って	2		438	26.0	/ 11 /
# は 大いに有用だった 435 25.8 ⑤シラバスの有用性 3 有用だった 967 57.3 2 1 1 有用でなかった 220 13.0 2 4 行われていた 40 2.4 未記入 25 1.5 2 4 2 3 だいたいがわわていた 966 57.3 35.2 ⑦シラバスとの整合性 3 だいたいがわわていた 966 57.3 2 かまり行われていたかった 85 5.0 2 2 かまり行われていなかった 85 5.0 2 2 2 2 2 3 3 2 2 3 3 2 2 3 3 3 2 3	んだと思います	1		43	2.5	
4 大いに有用たった 435 25.8 3 有用だった 967 57.3 4 有用でなかった 220 13.0 1 有用でしたか。 1 有用でなかった 40 2.4 未記入 25 1.5 4 行われていた 593 35.2 ⑦シラバスとの整合性 3 だいたい行われていた 966 57.3 2 あまり行われていなかった 85 5.0 そって授業が行われていましたか。 1 全く行われていなかった 10 0.6 未記入 33 2.0 4 よくされていた 713 42.3 8)内容の系統 的整理などの 講義に関する 準備はよくされていなかった 118 7.0 2 あまりされていなかった 118 7.0 2 を動する 2 かまりされていなかった 118 7.0 3 世倫はよくされていていなかった 118 7.0 4 様めて不十分だった 14 0.8			未記入	0	0.0	3
4 大いに有用だった 435 25.8 3 有用だった 967 57.3 4 有用だった 967 57.3 2						
(®) 授業 概要 (シラバス) は 有用でしたか。 1 有用でなかった 220 13.0		4	大いに有用だった	435	25.8	
 ⑥ 授業 概要 (シラバス)は 有用でなかった ② カまり有用でなかった ② 1 有用でなかった ② 2.4 未記入 ② 1.5 ② 2.5 1.5 ③ だいたい行われていた ② 2.6 57.3 ③ たいたい行われていた ② 2 あまり行われていなかった ② 2 かまり行われていなかった ② 2 2 かまり行われていなかった ② 2 2 かまり行われていなかった ② 2 2 3 2.0 ③ 整理・準備 ③ されていた ② 3 3 2.0 ③ ※整理・準備 ③ されていた ② かまりされていなかった ③ 1 2 2 3 3 2.0 ③ ※整理・準備 ③ されていた ② かまりされていなかった ③ 1 2 3 3 3 2.0 ③ ※整理・準備 3 されていた 3 3 42.3 ③ ※整理・準備 4 よくされていたと思いまりか。 4 4 4 0.8 4 4 0.8 		3	有用だった	967	57.3	未記入
有用でしたか。 1 有用でなかった 40 2.4 未記入 25 1.5 3 35.2 ⑦シラバスとの整合性 3 だいたい行われていた 966 57.3 ⑦シラバスとの整合性 3 だいたい行われていた 966 57.3 ② 表まり行われていなかった 85 5.0 そって授業が行われていましたか。 1 全く行われていなかった 10 0.6 未記入 33 2.0 4 よくされていた 713 42.3 ⑧内容の系統 的整理などの 講義に関する 準備はよくされていたと思いますか。 1 極めて不十分だった 14 0.8		2	あまり有用でなかった	220	13.0	
# 未記人 25 1.5		1	有用でなかった	40	2.4	
4 行われていた 593 35.2 1 1 未記入 3 だいたい行われていた 966 57.3 2 2 あまり行われていなかった 85 5.0 4 4 たぐされていましたか。 1 全く行われていなかった 10 0.6 未記入 33 2.0 3 3 2.0 4 よくされていた 713 42.3 8 整理・準備 3 されていた 838 49.7 3 されていた 2 あまりされていなかった 118 7.0 準備はよくされていたと思いますか。 1 極めて不十分だった 14 0.8 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3			未記入	25	1.5	3
4 行われていた 593 35.2 1 1 未記入 3 だいたい行われていた 966 57.3 2 2 あまり行われていなかった 85 5.0 4 4 たぐされていましたか。 1 全く行われていなかった 10 0.6 未記入 33 2.0 3 3 2.0 4 よくされていた 713 42.3 8 整理・準備 3 されていた 838 49.7 3 されていた 2 あまりされていなかった 118 7.0 準備はよくされていたと思いますか。 1 極めて不十分だった 14 0.8 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3						
① 授業 概要 (シラバス)に そって授業が 行われていましたか。 2 あまり行われていなかった 85 5.0 1 全く行われていなかった 10 0.6 未記入 33 2.0 4 よくされていた 意識能に関する 準備はよくされていたと思いますか。 4 4 1 を外で不十分だった 118 7.0 1 極めて不十分だった 14 0.8 3 されていたと思いますか。 1 0.8		4	行われていた	593	35.2	1
(シラバス) に そって授業が 行われていまし たか。 2 あまり行われていなかった 1 85 5.0 4 全く行われていなかった 1 10 0.6 未記入 3 2.0 4 よくされていた 3 2.0 8) 内容の系統 的整理などの 講義に関っる 準備はよくされ ていたと思いま すか。 2 あまりされていなかった 118 118 7.0 4 なおりまりされていなかった 1 1 0.8 4 4 0.8		3	だいたい行われていた	966	57.3	
行われていましたか。	(シラバス)に	2	あまり行われていなかった	85	5.0	
4 よくされていた 713 42.3 [®] 整理・準備 3 されていた 838 49.7 ③内容の系統 的整理などの 講義に関する 準備はよくされ ていたと思いま すか。 1 極めて不十分だった 14 0.8	行われていまし	1	全く行われていなかった	10	0.6	
3 されていた 838 49.7 1			未記入	33	2.0	
3 されていた 838 49.7 1 未記入 1 未記入 1 1 未記入 1 かまりされていなかった 118 7.0 7.0 118						
③内容の系統 的整理などの 講義に関する 準備はよくされ ていたと思いま すか。 2 あまりされていなかった 118 7.0 はよくされ すか。 1 極めて不十分だった 14 0.8		4	よくされていた	713	42.3	
9 日本ウンボル 離業に関する 準備にはくされ ていたと思いま 1 極めて不十分だった 14 0.8 すか。 3	0.h.m.~ 7./-	3	されていた	838	49.7	
ていたと思いま 1 極めて不十分だった 14 0.8 すか。 3	的整理などの 講義に関する	2	あまりされていなかった	118	7.0	
	ていたと思いま	1	極めて不十分だった	14	0.8	1
	, 0		未記入	4	0.2	

東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果(平成29年2学期) 時間割コード : AB0000 授業科目名 : 全科目合計

質問事項		選択項目	回答	比率 %		
	4	大いに感じた	824	48.8	⑨熱意	1
	3	感じた	782	46.4		十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二
⑨講義につい て教員の熱意		あまり感じなかった	68	4.0	•	
を感じました か。		全く感じなかった	9	0.5		3 4
		未記入	4	0.2		
	4	適切だった	726	43.0	⑩講義速度	
	3	概ね適切だった	839	49.7	•	1 未記入
回講義を進め		あまり適切でなかった	101	6.0	-	
る速度は適切でしたか。	1	全く適切でなかった	10	0.6		3 4
		未記入	11	0.7	-	
	4	よく聞き取れた	749	44.4	⑪説明	
	3	聞き取れた	731	43.3	•	1 未記入
即説明は良く		聞き取りにくかった	168	10.0		2
聞き取れました か。	3	聞き取れなかった	29	1.7		3
		未記入	10	0.6		
	4	大変読み易かった	558	33.1	⑫板書	
	3	読み易かった	806	47.8		1 未記入
		読みにくかった	245	14.5		2
	1	非常に読みにくかった	44	2.6	-	4
		未記入	34	2.0	-	3
⑫板書等の文 字は、読み易 かったですか。	-	非常に読みにくかった	44	2.6	-	

東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果(平成29年2学期) 時間割コード : AB0000 授業科目名 : 全科目合計 担当教員名 :

担当教員名質問事項	:	選択項目	回答	比率 %	
具凹ずツ		1			③視聴覚·情報機器
	4	大いに役立った	669	39.7	-
⑬ 視聴覚・情	3	役立った	644	38.2	
報機器が利用 された場合、	2	あまり役立たなかった	48	2.8	1 未記入
講義内容の理解に役立ちましたか。	1	全く役立たなかった	6	0.4	2 4
07270		未記入	320	19.0	3
	4	大いに役立った	709	42.0	④資料·教材
⑭資料の配布	3	役立った	669	39.7	1 未記入
や 教 材 の 使 用・模擬実験 があった場合、	2	あまり役立たなかった	70	4.1	2
講義内容の理 解に役立ちま	1	全く役立たなかった	10	0.6	
したか。		未記入	229	13.6	3
	4	大いに役立った	402	23.8	⑮教科書·参考書
② 料 到 事 土 L	3	役立った	478	28.3	
⑤教科書または参考書が紹介された場	2	あまり役立たなかった	88	5.2	未能入 4
合、予習や復 習に役立ちま したか。	1	全く役立たなかった	11	0.7	()
07270		未記入	708	42.0	3
					1
	4	大いに役立った	443	26.3	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
Orter (1.1°	3	役立った	533	31.6	
⑩宿題(レポートを含む)や演習が課された	2	あまり役立たなかった	55	3.3	4
場合、講義内容の理解に役立ちましたか。	1	全く役立たなかった	8	0.5	未記入
エウましたが。		未記入	648	38.4	3

東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果 (平成29年2学期) 時間割コード : AB0000 授業科目名 : 全科目合計

担当教員名

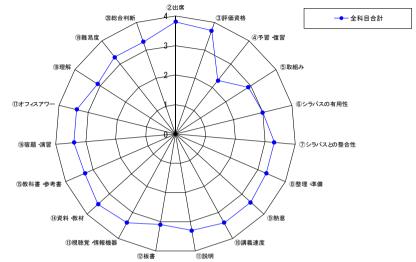
質問事項		選択項目	回答	比率 %	
_	4	適切である	644	38.2	⑪オフィスアワー
	3	ほぼ適切である	696	41.3	
⑪この講義の オフィスアワー	2	あまり適切でない	32	1.9	1 未記入
は利用上適切 に設定されて いますか。	1	適切でない	3	0.2	4
		未記入	312	18.5	3
	4	よく理解できた	359	21.3	®理解
	3	理解できた	1,051	62.3	1 未記入
®講義内容は どの程度理解	2	あまり理解できなかった	249	14.8	2 4
したと思います か。	1	全く理解できなかった	18	1.1	
		未記入	10	0.6	3
	4	適切だった	569	33.7	⑬難易度
	3	概ね適切だった	976	57.9	1 未記入
四講義の難易	2	あまり適切でなかった	108	6.4	4
度 は適切でし たか。	1	全く適切でなかった	18	1.1	
		未記入	16	0.9	3
	4	大変満足した	624	37.0	②総合判断
	3	ある程度満足した	899	53.3	1 未記入
②総合的に判断して、この講	2	あまり満足しなかった	138	8.2	2
義に満足しまし たか。	1	全く満足しなかった	20	1.2	4
		未記入	6	0.4	3

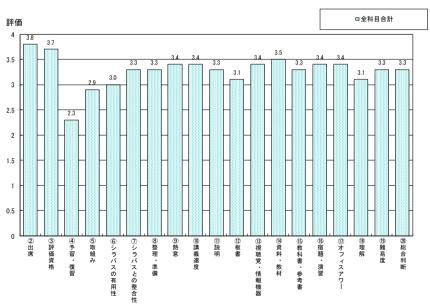
○全科目の集計結果と集計表

各設問に対する4段階評価の全科目平均値の結果をレーダーチャートで図示した。ただし、設問①は除いた。出席割合を示す設問②はすべての設問の中で最も点数が高く3.7~3.8 であった。これと同じもしくはほぼ同程度に高かったのは設問③の評価資格で3.6~3.7 であった。1、2 学期とも比較的高い点数と思われる3.4から3.5となっていたのは、⑨熱意、⑩講義速度、⑬視聴覚・情報機器、⑭資料・教材、⑩宿題・演習、⑪オフィスアワーであり、昨年度と比べると多くの項目で高評価であった。

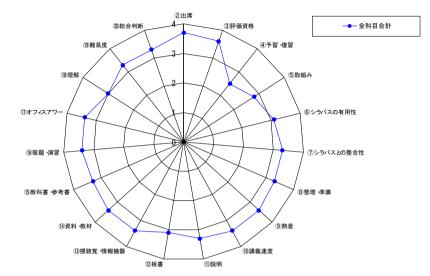
比較的低い評価点数と思われる 2.5 以下の設問として、1、2 学期を通じて④予習復習が 2.3~2.5 と最も低く、次いで低い評価として点数が 3.0 以下のものは、1、2 学期を通じて⑤取組みであった。その他の設問では⑥シラバスの有用性、⑫板書、⑱理解が他の項目とくらべると低めであった。これらの項目は昨年度と同じであり、引き続き改善が必要である。

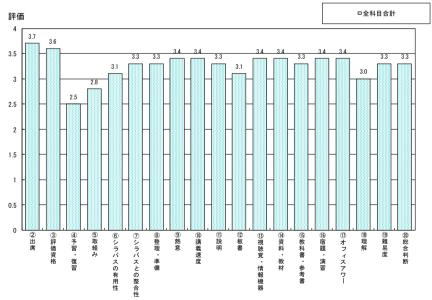
東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果 平成29年1学期) 全科目合計





東北大学農学部の職義に関するアンケート集計結果 (平成29年2学期) 全科目合計

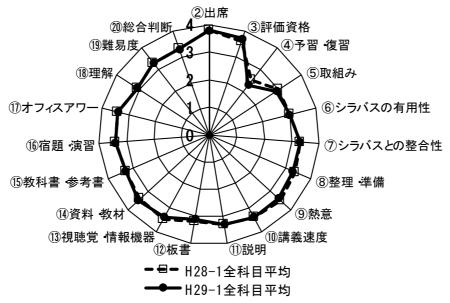




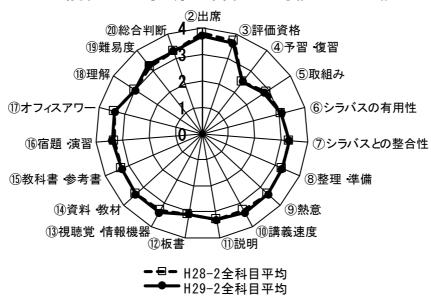
○前回の授業評価との比較

アンケートは内容、設問数ともに前回(平成28年度実施)と同じである。1学期、2学期とも前回と大きな変化はないようである。

前回の 1学期全科目平均値との比較



前回の 2学期全科目平均値との比較



3.アンケートの集計結果の分析(実験・実習)

集計結果は、実験・実習全科目の以下の各質問事項において、選択項目別にその選択割合を算出後、平均値を計算し、授業評価集計表としてまとめた。また、各質問事項の平均値は、分かりやすいようにレーダーチャートで表した。

1) アンケート項目

設問①:実験の全体構成と各項目の意義・目的がシラバスや実際の実験を通してよく理解できましたか。

設問②:各実験項目は、講義との関係や実験技術習得・原理の理解などに十分配慮して選択されていま したか。

設問③:テキストは学習効果を上げるために適切なものとなっていましたか。

設問④:実験機器・設備は十分でしたか。

設問⑤:実験に必要な機器の維持管理は適切になされていましたか。

設問⑥:劇毒物・病原微生物・電気・機械類・重量物などを取り扱う際、安全管理面への配慮は十分なされていましたか。

設問(7):実験廃液や廃棄物、実験後の生物試料等の処理について、適切な指示がありましたか。

設問⑧:教員・技術職員は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。

設問⑨:TA 等は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。

設問⑩:機器の取扱い、機器の使用法、実験操作法など実験操作技術への教育は十分でしたか。

設問⑪:レポート課題は適切に選択されていましたか。内容の深い理解の助けになり、考える力を養う上で役に立つものとなっていましたか。

設問(2):データの整理、レポートの書き方などについて十分な指導がありましたか。

設問(3):実験の時間配分は適切でしたか。

設問(4):この実験科目にあなたは満足できましたか。

設問(6):この実験に何回欠席しましたか。

設問⑪:この実験1回あたり、予習・復習・レポートに費やした平均の時間はいくらですか。

設問®:実験に集中できましたか。実験の意味を考えながら行うよう努力しましたか。

2) 集計結果、集計表、感想と意見

○集計結果の分析概要と集計表

各設問に対する集計結果の分析概要は以下の通りである。

設問①、②:実験・実習の意義・内容の理解および各実験項目に対する配慮を問う設問である。95%以上の学生が、各実験・実習の意義や目的がシラバスや実際の実験を通して理解でき、各実験項目と講義との関係や実験技術の習得や理解等に配慮されていたと感じているようである。

設問③~⑤:テキストや実験機器・設備とその維持状況を問う設問である。テキストに関しては、両学期ともにそれぞれ約 95%の学生がおおよそ適切あるいは十分と考えており、実験機器・整備に関しても十分だったとする割合も約 90%と高かった。機器管理に関しては約 95%の学生が適切に管理されていると考えている。

設問⑥、⑦:実験の安全管理面や後処理指示の適切さを問う設問である。いずれの設問においても、 1学期は約95%、2学期は97%の学生が安全管理や後処理指示がほぼ適切であったと感じている。

設問⑧~⑩:担当スタッフや TA の指導状況を問う設問である。約 95%の学生が教員・技術職員が実

験の指導に十分な時間を費やし、指導もきめ細やかだったと感じていた。TA の指導が十分だったとする 学生は1学期は94%であったが、2学期は84%であった。2学期は未記入が13%であったことから、TA の 配置について十分理解されていなかった可能性がある。また、実験操作技術への教育は96~98%の学 生が概ね十分であると評価している。

設問①、②:レポート課題に関する設問である。1 学期はいずれも96%の学生が、レポート課題が適切であり、内容の理解や考える力を養うに十分なものであり、データ整理から書き方にいたるまでの指導も十分であると感じているが、2 学期はこれらの割合が94%および89%と低下している。

設問⑬、⑭:実験科目の時間配分や実験に対する満足度を問う設問である。約 90%の学生が時間配分は適切であると感じている。また、96%の学生は実験科目に満足を感じていた。

設問⑯~⑱:出席、予習・復習、集中度を問う設問である。1 学期 98%、2 学期 96%の学生が欠席なしまたは1回欠席と回答しており、出席率は講義に比べて非常に高い。しかし、予習・復習をしなかった学生が1学期、2学期それぞれ14%、23%おり、前年度より高かった。一方で、1学期95%、2学期93%の学生は実験・実習に集中できたと感じている。

設問事項全体の分析を通して、以下に評価の高い点と、改善すべき点についてまとめた。 【評価の高かった点】

- ① 95%以上の学生が、意義や目的を理解しており、実験技術の習得や理解等に配慮されていたと感じていた。
- ② テキスト、実験機器の管理が十分であったとする学生が約95%であった。
- ③ 教員・技術職員による指導が十分であったと約95%の学生が感じていた。
- ④ 実験に対して満足を感じている学生が95%以上であった。

【改善を要する点】

- ① 実験機器や設備が不十分と感じている学生は 8~11%であった。予算に応じて適宜整備すべきであろう。
- ② レポートの課題および指導が適切であるとする学生の割合が2学期においてやや低かった。
- ③ 劇毒物等取扱いに関する安全管理への配慮の未記入が 1 学期は 6%であった。取扱いについて 理解していない学生が一定数存在していた可能性がある。
- ④ 予習・復習をまったくしない学生の割合が前年度より増加しており、学生の実験・実習への意識がや や低くなっている可能性がある。

東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果(平成29年1学期)

時間割コード : AB0000 授業科目名 : 全科目合計

担当教員名 :

担当教員名	:				_
質問事項		選択項目	回答	比率 %	
	4	よく理解できた	231	43.7	1.理解度
1. 実験の全体 構成と各項目	3	ある程度理解できた	281	53.1	
の意義・目的 がシラバスや 実際の実験を		あまり理解できなかった	17	3.2	3
通してよく理解 できましたか。	1	全く理解できなかった	0	0.0	
		未記入	0	0.0	
	4	十分配慮されていた	293	55.4	2. 実験項目 2
2. 各実験項目 は、講義との関 係や実験技術	3	ある程度配慮されていた	223	42.2	
習得・原理の 理解などに十	2	あまり配慮されていなかった	13	2.5	3 4
分配慮して選 択されていまし たか。	1	全く配慮されていなかった	0	0.0	
		未記入	0	0.0	
	4	適切であった	273	51.6	3. テキスト内容
3. テキストは	3	概ね適切であった	230	43.5	
学習効果を上 げるために適 切なものとなっ	2	あまり適切でなかった	24	4.5	3 4
ていましたか。	1	全く適切でなかった	2	0.4	
		未記入	0	0.0	
	4	十分だった	311	58.8	4. 実験設備
	3	概ね十分だった	162	30.6	
4. 実験機器・ 設備は十分で したか。	2	多少不十分だった	51	9.6	3
	1	不十分だった	5	0.9	4
		未記入	0	0.0	

東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果(平成29年1学期)

時間割コード : AB0000 授業科目名 : 全科目合計

質問事項		選択項目	回答	比率 %	
	4	適切に管理されていた	306	57.8	5. 機器管理
5. 実験に必要	3	概ね適切に管理されていた	193	36.5	
な機器の維持 管理は適切に なされていまし	2	あまり管理されていなかった	29	5.5	3 }
たか。	1	全く管理されていなかった	1	0.2	
		未記入	0	0.0	
	4	十分配慮されていた	349	66.0	6. 安全管理 2 未記入
6. 劇毒物・電 気・機械類・重	3	ある程度配慮されていた	146	27.6	
量物などを取り 扱う際、安全管 理面への配慮	2	あまり配慮されていなかった	4	0.8	3
は十分なされ ていましたか。	1	全く配慮されていなかった	0	0.0	4
		未記入	30	5.7	
	4	適切であった	335	63.3	7. 後処理指示 2 未記入
7. 実験廃液や 廃棄物、実験	3	概ね適切であった	169	31.9	
後の生物試料 等の処理につ いて、適切な	2	あまり適切でなかった	11	2.1	3 4
指示がありまし たか。	1	全く適切でなかった	1	0.2	
		未記入	13	2.5	
8. 教員・技術 職員は実験の	4	十分だった	328	62.0	8. 指導状況1
	3	概ね十分だった	177	33.5	
指導に十分な 時間を費やし、 きめ細かな指	2	多少不十分だった	23	4.3	3 4
導をしました か。	1	不十分だった	1	0.2	
		未記入	0	0.0	

東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果(平成29年1学期) 時間割コード : AB0000

時間割コード : AB0000 授業科目名 : 全科目合計

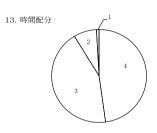
担当教員名 :

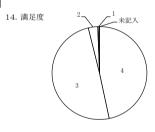
質問事項	選択項目		回答	比率 %	
	4	十分だった	310	58.6	9. 指導状況2 1 未記入
9. TA等は実 験の指導に十	3	概ね十分だった	189	35.7	2
分な時間を費 やし、きめ細か	2	多少不十分だった	21	4.0	3 4
な指導をしまし たか。	1	不十分だった	3	0.6	
		未記入	6	1.1	
	4	十分だった	290	54.8	10. 実験操作技術
10.機器の取 扱い、機器の	3	概ね十分だった	218	41.2	
使用法、実験 操作法など実 験操作技術へ	2	多少不十分だった	20	3.8	3) 4
の教育は十分 でしたか。	1	不十分だった	1	0.2	
		未記入	0	0.0	
11. レポート課		大いに役立った	247	46.7	11. レポート課題 未記入
題は適切に選択されていましたか。内容の	3	ある程度役立った	262	49.5	
深い理解の助 けになり、考え る力を養う上で	2	あまり役立たなかった	9	1.7	3 4
役に立つものと なっていました		全く役立たなかった	0	0.0	
か。		未記入	11	2.1	
	4	十分あった	265	50.1	12. 学生対応 2 1 未記入
12. データの 整理、レポート	3	概ね十分あった	241	45.6	
の書き方など について十分 な指導がありま	2	多少不十分だった	19	3.6	3 4
したか。	1	不十分だった	2	0.4	
		未記入	2	0.4	

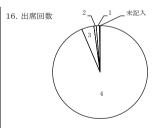
東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果(平成29年1学期)

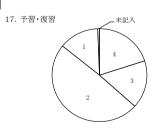
時間割コード : AB0000 授業科目名 : 全科目合計 担当数員名 :

担当教員名質問事項	:	選択項目	回答	比率 %
24177		7	0.50	45.0
	4	適切であった	253	47.8
	3	概ね適切であった	230	43.5
13. 実験の時 間配分は適切 でしたか。	2	あまり適切でなかった	41	7.8
	1	全く適切でなかった	5	0.9
		未記入	0	0.0
	4	大いに満足した	247	46.7
14. この実験	3	ある程度満足した	262	49.5
科目にあなた は満足できまし たか。	2 あまり満足しなかった		17	3.2
/_/J* ₀	1	全く満足しなかった	2	0.4
		未記入	1	0.2
	4	欠席しなかった	496	93.8
	3	1回欠席	22	4.2
16. この実験 に何回欠席し ましたか。	2	2回欠席	4	0.8
	1	3回以上欠席	6	1.1
		未記入	1	0.2
	4	3時間以上	106	20.0
17. この実験1 回あたり、予	3	2時間以上~3時間未満	88	16.6
習・復習・レポートに費やした平均の時間	2	2時間未満	260	49.1
はいくらです か。	1	しなかった	72	13.6
		未記入	3	0.6







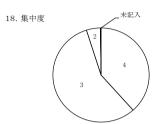


東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果(平成29年1学期) 時間割コード : AB0000

授業科目名 : 全科目合計

担当教員名 :

質問事項		選択項目	回答	比率 %
	4	4 大いに集中できた		38.4
18. 実験に集 中できました	3	ある程度集中できた	300	56.7
か。実験の意 味を考えながら	2	あまり集中できなかった	25	4.7
行うよう努力し ましたか。	1	全く集中できなかった	0	0.0
		未記入	1	0.2



東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果(平成29年2学期) 時間割コード : AB0000

授業科目名 : 全科目合計

担当教員名	:				-
質問事項	選択項目		回答	比率 %	
	4	よく理解できた	127	43.5	1.理解度
1. 実験の全体 構成と各項目	3	ある程度理解できた	155	53.1	
の意義・目的 がシラバスや 実際の実験を	2	あまり理解できなかった	10	3.4	3
通してよく理解 できましたか。	1	全く理解できなかった	0	0.0	
		未記入	0	0.0	
	4	十分配慮されていた	161	55.1	2. 実験項目 2
2. 各実験項目 は、講義との関 係や実験技術	3	ある程度配慮されていた	126	43.2	
習得・原理の 理解などに十	2	あまり配慮されていなかった	4	1.4	3
分配慮して選択されていましたか。	1	全く配慮されていなかった	1	0.3	
		未記入	0	0.0	4
	4	適切であった	135	46.2	3. テキスト内容
3. テキストは	3	概ね適切であった	140	47.9	
学習効果を上 げるために適 切なものとなっ	2	あまり適切でなかった	16	5.5	3
ていましたか。	1	全く適切でなかった	1	0.3	
		未記入	0	0.0	
	4	十分だった	137	46.9	4. 実験設備
	3	概ね十分だった	131	44.9	
4. 実験機器・ 設備は十分で したか。	2	多少不十分だった	23	7.9	3
	1	不十分だった	1	0.3	
		未記入	0	0.0	

東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果(平成29年2学期)

時間割コード : AB0000 授業科目名 : 全科目合計

担当教員名 :

質問事項	選択項目		回答	比率 %	
	4	適切に管理されていた	149	51.0	5. 機器管理
5. 実験に必要	3	概ね適切に管理されていた	130	44.5	
な機器の維持 管理は適切に なされていまし	2	あまり管理されていなかった	13	4.5	3 4
たか。	1	全く管理されていなかった	0	0.0	
		未記入	0	0.0	
	4	十分配慮されていた	186	63.7	6. 安全管理 2 未記入
6. 劇毒物·電 気·機械類·重	3	ある程度配慮されていた	103	35.3	3
量物などを取り 扱う際、安全管 理面への配慮	2	あまり配慮されていなかった	2	0.7	
は十分なされ ていましたか。	1	全く配慮されていなかった	0	0.0	
		未記入	1	0.3	
	4	適切であった	178	61.0	7. 後処理指示 2 1
7. 実験廃液や 廃棄物、実験	3	概ね適切であった	105	36.0	
後の生物試料 等の処理につ いて、適切な	2	あまり適切でなかった	8	2.7	3 4
指示がありまし たか。	1	全く適切でなかった	1	0.3	
		未記入	0	0.0	
	4	十分だった	160	54.8	8. 指導状況1
8. 教員・技術 職員は実験の	3	概ね十分だった	115	39.4	
指導に十分な 時間を費やし、 きめ細かな指	2	多少不十分だった	14	4.8	3 4
導をしました か。	1	不十分だった	3	1.0	
		未記入	0	0.0	

東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果(平成29年2学期)

時間割コード : AB0000 授業科目名 : 全科目合計

質問事項		選択項目	回答	比率 %	
	4	十分だった	136	46.6	9. 指導状況2
9. TA等は実 験の指導に十	3	概ね十分だった	109	37.3	未記入
分な時間を費 やし、きめ細か	2	多少不十分だった	7	2.4	4
な指導をしまし たか。	1	不十分だった	1	0.3	
		未記入	39	13.4	
	4	十分だった	150	51.4	10. 実験操作技術 2
10. 機器の取 扱い、機器の	3	概ね十分だった	135	46.2	
使用法、実験 操作法など実 験操作技術へ	2	多少不十分だった	6	2.1	3 4
の教育は十分 でしたか。	1	不十分だった	1	0.3	
		未記入	0	0.0	
11. レポート課	4	大いに役立った	133	45.5	11. レポート課題 ¹ 未記入
題は適切に選 択されていまし たか。内容の	3	ある程度役立った	142	48.6	
深い理解の助 けになり、考え	2	あまり役立たなかった	6	2.1	3
る力を養う上で 役に立つものと なっていました	1	全く役立たなかった	1	0.3	
か。		未記入	10	3.4	
12. データの 整理、レポート の書き方など について十分	4	十分あった	125	42.8	12. 学生対応 1 未記入
	3	概ね十分あった	135	46.2	2
	2	多少不十分だった	23	7.9	4
な指導がありま したか。	1	不十分だった	1	0.3	3
		未記入	8	2.7	

東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果(平成29年2学期) 時間割コード : AB0000

時間割コード : AB0000 授業科目名 : 全科目合計

担当教員名 :

質問事項	選択項目		回答	比率 %	
	4	適切であった	140	47.9	13. 時間配分
	3	概ね適切であった	116	39.7	
13. 実験の時 間配分は適切 でしたか。	2	あまり適切でなかった	32	11.0	4
1 2 1 = 11 0	1	全く適切でなかった	4	1.4	
		未記入	0	0.0	
	4	大いに満足した	147	50.3	14. 満足度 2 1
14. この実験	3	ある程度満足した	134	45.9	
科目にあなた は満足できまし	2	あまり満足しなかった	8	2.7	3 4
たか。	1	全く満足しなかった	3	1.0	
		未記入	0	0.0	
	4	欠席しなかった	265	90.8	16. 出席回数 2 1 未記入
	3	1回欠席	15	5.1	3
16. この実験 に何回欠席し ましたか。	2	2回欠席	4	1.4	
	1	3回以上欠席	3	1.0	4
		未記入	5	1.7	
	4	3時間以上	47	16.1	17. 予習·復習 未記入
17. この実験1回あたり、予	3	2時間以上~3時間未満	39	13.4	1 4
習・復習・レ ポートに費やし た平均の時間	2	2時間未満	133	45.5	3
はいくらです か。	1	しなかった	66	22.6	2
		未記入	7	2.4	

東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果(平成29年2学期)

時間割コード : AB0000 授業科目名 : 全科目合計

質問事項		選択項目	回答	比率 %
18. 実験に集中できましたか。実験の意味を考えながら行うよう努力しましたか。	4	大いに集中できた	89	30.5
	3	ある程度集中できた	181	62.0
	2	あまり集中できなかった	17	5.8
	1	全く集中できなかった	0	0.0
		未記入	5	1.7

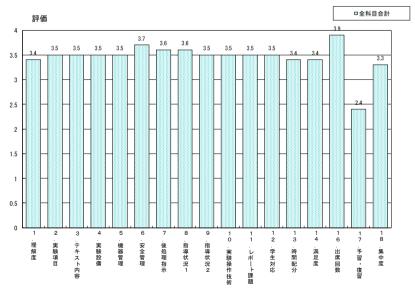


○実験・実習全科目の集計結果と集計表

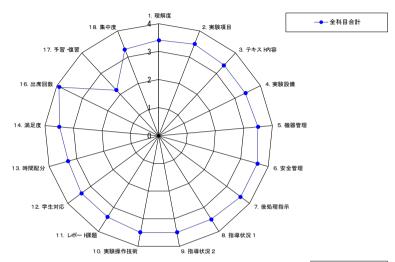
各設問に対する 4 段階評価の実験・実習全科目の平均値の結果をレーダーチャートで図示した。出席回数を示す設問⑥はすべての設問の中で最も点数が高く3.9であった。1、2 学期とも比較的高い点数と思われる3.5を超える点数であったのは、⑥安全管理、⑦後処理指示であった。一方、平均点より大幅に低かった設問は⑪予習・復習だけであり、1 学期、2 学期ともに2.5を下回った。その他の項目は3.3~3.5と概ね高評価であった。

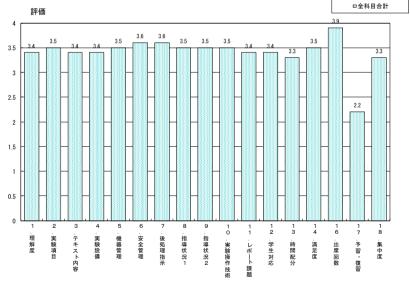
東北大学農学部実験 実習に関するアンケー |集計結果 平成29年1学期) 全科目合計

1. 理解度 2 実験項目 18. 集中度 17. 予習 -復習 3. テキス |内容 4. 実験設備 16. 出席回数 14. 満足度 5. 機器管理 13. 時間配分 6. 安全管理 12 学生対応 7. 後処理指示 11. レポー |課題 8. 指導状況 1 10. 実験操作技術 9. 指導状況 2



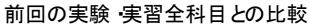
東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果 (平成29年2学期) 全科目合計

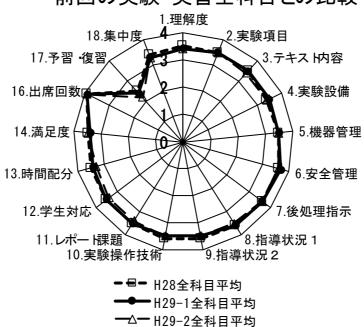




○前回の授業評価との比較

アンケートは内容、設問数ともに前回(平成 28 年度実施)と同じである。1学期と2学期ともに前回の通年での回答と比べて大きな変化はないようである。





4. 参考資料

- 1) 東北大学農学部の講義に関するアンケート用紙(平成 29 年度) 東北大学農学部の実験・実習に関するアンケート用紙(平成 29 年度)
- 2) 授業評価実施科目表(科目別受講者数およびアンケート回収率)(平成29年度)
- 3) 「学生諸君へ」農学部の学生による授業評価の実施について 「学生諸君へ」農学部の学生による実験・実習評価の実施について
- 4) 「授業担当教員」学生による授業評価の実施について 「実験・実習担当教員」学生による実験・実習評価の実施について
- 5) 「農学部授業担当教員」「学生による授業評価」に関する意見等について 「農学部実験・実習担当教員」「学生による実験・実習評価」に関する意見等について

義名			切り取り線			
%·Ω		東北大学農	学部の講義に関するアンケー	ŀ		
このでいた―――――――――	・部の講義の改善に学生諸君の意	き目されることもします。	ひがた 宇宙かの宣義な同僚	2.89461 sk-J-		
	F部の講義の以書に子生館名の』 すると思われる項目の番号を口に				ってください。	
	への回答が記入者の不利益とな					
また、質問に対する回	回答は集計後に教員へ開示される	tす。				
いまこの場で受講して	いる講義の種類				必修 2	選択
			90%ELE	80-90%	70-80%	70%EUF
この講義にどの程度と	出席しましたか。		4	3	2	1
出席率等から、この授	業を評価する資格があると思いま	すか。	光分ある	一応ある	あまりない	全くない
		*	4	3 1.2	2	1
この講義について予	習・復習をしましたか。		よくした 4	Lit.	あまりしなかった 2	全くしなかった 1
			極めて熱心		あまり熱心に	全く熱心に
この講義に興味を持っ	って熱心に取り組んだと思います。	٥٠٠	取り組んだ 4	3	取り組まなかった 2	取り組まなかった 1
			大いに有用だ		あまり	有用でなかった
受棄概要(シラバス)に	は有用でしたか。		AV104mic	3	有用でなかった	1
			fibhtv	だいたい	あまり行われて	全く行われて
受棄概要(シラバス)	こそって授業が行われていました	<i>h</i> >.	4	で 行われていた 3	wasot 2	いなかった 1
			よくされてい	t shrvt	あまりされて	極めて不十分だった
内容の系統的整理な	どの講義に関する準備はよくされ	ていたと思いますか。	4	3	いなかった 2	1
	44 W.A. (811 A.)		大いに感じ	と 感じた	あまり感じなかった	全く感じなかった
講義について教員の	熱意を膨じましたか。		4	3	2	1
講義を進める速度は	適切でしたか。 の改善方向を下の「改善すべき』	Edward Table 1	適切だった		あまり適切でなかった	全く適切でなかった
190 CAV WHILLA. C	◇ 以音 の同を 1 ◇) 以音 5 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	()(CEA.C.LGA.2)	4 よく関作政的	3 た 関か取れた	2 聞き取りにくかった	1 関き取れなかった
説明は良く聞き取れる	したか。		4	3	2	1
板書等の文字は、読	r. H.a skortabal.		大変 競み易かっ	き 読み易かった	読みにくかった	非常に 競みにくかった
仮音寺の又子は、既	があかつにですか。		4	3	2	1
	利用された場合、講義内容の理解	に役立ちましたか。	大いに役立っ	た 役立った	あまり 役立たなかった	全く役立たなかった
用されなかった場合	、記入は不要です。)		4	3	2	1
	使用・模擬実験があった場合、講	義内容の理解に役立	大いに役立っ	た 役立った	あまり 役立たなかった	全く役立たなかった
Eしたか。(ない場合)	は、配人不要です。)		4	3	2	1
教科書または参考書: されなかった場合、記	が紹介された場合、予習や復習に	こ役立ちましたか。(紹	大いに役立っ		あまり 役立たなかった	全く役立たなかった
			4	3	2 あまり	1
宿題(レポートを含む))や演習が課された場合、講義内 と場合、記入は不要です。)	容の理解に役立ちま	大いに役立っ		役立たなかった	全く役立たなかった
	ワーは利用上適切に設定されてい	vitable.	4 適切である	3 ほぼ歯切である	2 お求り適切でない	1 適切でない
この解表のオフイスア 値切でない場合は、そ	ワーは利用上適切に設定されてい の改善方向を下の「改善すべき』	ハェゥか。 弘に書いて下さい。)	4	3	2	1
			よく理解でき	た 理解できた	あまり 理解できなかった	全く 理解できなかった
#我門登は5ツ程度	理解したと思いますか。		4	3	2	1
購養の難易度は適切			適切だった	概ね適切だった	あまり適切でなかった	全く適切でなかった
切でない場合は、そ	の改善方向を下の「改善すべき」	以に書いて下さい。)	4	3	2	1
総合的に判断して、こ	の講義に満足しましたか。		大変 満足した	ある程度満足した	あまり 演足しなかった	全く満足しなかった
			4	3	2	1

・改善すべき点

質問用紙		
コース	<u>学年</u> <u>氏名</u>	
	切り取り線	
講義名		
	東北大学農学部実験・実習に関するアンケート	
このアンケートは農学部の実験・実習の改善 回答は該当する番号を記入欄に記入して下る	に学生緒君の意見を生かそうとするものです。率直かつ真摯な回答を期待します。 さい、また、記述質服について、あなたの質見を自由に書いてください。	
なお、このアンケートへの回答が配入者の不 また、質問に対する回答は集計後に教員へ限	利益とならないよう、集計は氏名欄を切り離して行います。	
おこ、美国に対する間を14条目後に収集。	#/PC4104.7 0	
I 実験に関する質問		記入權
	ラパスや実際の実験を通してよく理解できましたか。	1007 100
	た、 2:あまり理解できなかった、 1:全く理解できなかった)	
2 名家職項目け 潜禁との関係や家職技術要	7得・原理の理解などに十分配慮して選択されていましたか。	
	載されていた。 2:あまり配慮されていなかった。 1:全く配慮されていなかった)	
3. テキストは学習効果を上げるために適切なも	75 late 1 . 141 de 14.	
	のとなっていましたか。 2:あまり適切でなかった。 1:全く適切でなかった)	
 実験機器・設備は十分でしたか。 (4:十分だった、3: 概ね十分だった、2: 	: 多少不十分だった, 1: 不十分だった)	
 実験に必要な機器の維持管理は適切になさ (4:適切に管理されていた。 3:軽ね適切! 	!れていましたか。 に管理されていた、 2:あまり管理されていなかった、 1:全く管理されていなかった)	
6. 劇毒物·病原微生物·電気·機械類·重量物:	などを取り扱う際、安全管理面への配慮は十分なされていましたか。	
(危険物等のない場合、記入は不要です。) (4:十分配慮されていた。 2:ある程度配慮	違されていた。2:あまり配慮されていなかった。1:全く配慮されていなかった)	
7. 実験廃液や廃棄物、実験後の生物試料等の		
	2:あまり適切でなかった。 1:全く適切でなかった)	
 教員・技術職員は実験の指導に十分な時間 (4:十分だった, 3: 概ね十分だった, 2: 		
 TA等は実験の指導に十分な時間を費やし、 (4:十分だった, 3:概ね十分だった, 2: 		
 機器の取扱い、機器の使用法、実験操作法 (4:十分だった, 3: 概ね十分だった, 2: 		
	か。内容の深い理解の助けになり、考える力を養う上で役に立つものとなっていましたか。た、2:あまり役立たなかった、1:全く役立たなかった)	
 データの整理、レポートの書き方などについる: (4:十分あった, 3: 概ね十分あった, 2: 		
	(P) (1) (M) (M) (M) (M) (M)	
 実験の時間配分は適切でしたか。 (4・適切であった 2・終わ適切であった。 	2:あまり適切でなかった。 1:全く適切でなかった)	
 この実験科目にあなたは満足できましたか。 (4:大いに満見した。 3:ある無度満見した。 	。 た、 2:あまり満足しなかった、 1:全く満足しなかった)	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	点」に分けて自由に書いて下さい。用紙が不足する場合は裏面を利用して下さい。	
・よい点		
・改善すべき点		
Ⅱ あなたの実験への取り組み		記入機
16. この実験に何回ケ席しましたか。		
(4:欠席しなかった, 3:1回欠席, 2:2厘	· 图文席, 1:3回以上欠席)	
17. この実験1回あたり、予習・復習・レポートに		
(4:3時間以上, 3:2時間以上~3時間未	と演, 2:2時間未満, 1:しなかった)	
18. 実験に集中できましたか。実験の意味を考		
(4:大いに集中できた, 3:ある程度集中で	できた。 2:あまり集中できなかった。 1:全く集中できなかった)	

東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果 平成29年度1学期)

会話の000 全科目合計 2,515 2,863 87.8% AB 1010 資源有機化学 99 169 58.6% AB 1111 昆虫生理生態学 21 27 31 87.8% AB 1112 地球環境システム論 10 10 10 100.9% AB 11112 地球環境システム論 10 10 10 100.9% AB 11114 生物海洋学 28 31 90.3% AB 1121 植物発生生理学 39 39 100.0% AB 1121 植物発生生理学 39 39 100.0% AB 1131 食用作物学 40 42 95.5% AB 1131 食用作物学 40 42 95.5% AB 1131 体理性学 37 40 92.5% AB 1131 体理性学 37 40 92.5% AB 1131 体理性学 37 40 92.5% AB 1131 域后育種学 25 30 83.5% AB 1151 動物変源開発学 23 23 100.0% AB 120.0 機材学 25 30 83.5% AB 1151 動物変源開発学 25 30 83.6% AB 120.0 機材学 26 29 87.8% AB 120.0 機材学 26 29 87.8% AB 120.0 機材学養益講話 1 29 30 96.7% AB 120.3 水産資源生態学 22 25 88.0% AB 1210 横物栄養生理学 35 40 87.5% AB 1211 開発経済学 9 12 75.0% AB 1211 財物徴生物科学 30 31 96.5% AB 1213 水圏植物生態学 25 29 86.2% AB 1214 微生物生化学 58 61 95.1% AB 1311 広域資源調査学 25 29 86.2% AB 1214 微生物生化学 58 61 95.1% AB 1311 広域液源調査学 28 28 100.0% AB 1321 栽培植物環境科学 31 31 100.0% AB 1321 栽培植物環境科学 31 31 100.0% AB 1311 太地植物環境科学 31 31 100.0% AB 1312 栽培植物環境科学 31 31 100.0% AB 1312 栽培植物環境科学 31 31 100.0% AB 1313 株 1 100.0% AB 1314 水 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<u>果心人子展子</u>	- 市の講義に関するアンケー F乗打桁	来 件队29年及1子规		
AB 1101			アンケー ト提出者数	受講者数	回収率
ABI111 昆虫生理生態学	AB0000	全科目合計	2,515	2,863	
AB1112 地球環境システム論 10 10 1000% AB1113 動物栄養生化学 27 31 87.7% 19 28 31 90.3% AB1114 生物海洋学 28 31 90.3% AB1121 植物発生生理学 39 39 100.0% AB1131 食用作物学 40 42 95.2% AB1131 食用作物学 40 42 95.2% AB1131 食用作物学 40 42 95.2% AB1134 栄養生理学 37 40 92.5% AB1134 栄養生理学 37 40 92.5% AB1134 栄養生理学 25 30 83.3% AB 1151 動物資源開発学 23 23 100.0% AB 1201 農村地域組織論 9 12 75.0% AB 1201 農村地域組織論 9 12 75.0% AB 1202 動物生殖科学 26 29 89.7% AB 1204 植物栄養生理学 35 40 87.5% AB 1204 植物栄養生理学 35 40 87.5% AB 1211 開発経済学 9 12 75.0% AB 1211 開発経済学 9 12 75.0% AB 1211 開発経済学 9 12 75.0% AB 1211 開発経済学 9 17.75.0% AB 1212 動物微生物科学 30 31 96.8% AB 1214 微生物生地学 30 31 96.8% AB 1215 科学英語講話 1 28 30 93.3% AB 131 広域資源調査学 25 31 80.6% AB 131 広域資源調査学 25 144 86.8% AB 131 広域資源調査学 25 31 80.8% AB 131 広域資源調査学 28 28 100.0% AB 1312 敷物機能形態学 25 31 80.6% AB 1312 敷物機能地態学 25 31 80.6% AB 1312 敷物機能地態学 25 34 73.5% AB 1401 敷物生理科学 29 90 90.6% AB 1312 大学技術論 28 29 96.6% AB 1324 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB 1324 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB 1341 広域資源建料学 31 31 100.0% AB 1324 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB 1341 広域資源調査学 25 34 73.5% AB 1401 敷物性理科学 29 29 100.0% AB 1341 大学英語講話 1 11 12 91.7% AB 1401 動物生理科学 29 29 100.0% AB 1414 植物療染体産学 25 34 73.5% AB 1401 動物生理科学 29 29 100.0% AB 1414 植物療染体産学 25 34 73.5% AB 1402 万分.5% AB 1401 動物生理科学 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	AB1101	資源有機化学	99	169	58.6%
AB 1113 動物栄養生化学 27 31 87.1% AB 1114 生物海洋学 28 31 90.3% AB 1121 植物発生生理学 39 39 100.0% AB 1131 食用作物学 40 42 95.2% AB 1132 草地科学 29 31 93.5% AB 1133 栄養生理学 37 40 92.5% AB 1134 栄養生理学 29 31 93.5% AB 1134 栄養生理学 29 31 93.5% AB 1141 遺伝育種学 25 30 83.3% AB 1151 動物資源開発学 23 23 100.0% AB 1201 農村地域組織論 9 12 75.0% AB 1202 動物生殖科学 26 29 89.7% AB 1202 動物生殖科学 26 29 89.7% AB 1204 植物栄養生理学 35 40 87.5% AB 1205 科学英語講読 1 29 30 96.7% AB 1211 開発経済学 9 12 75.0% AB 1212 動物微生物科学 30 31 96.8% AB 1213 水園植物生態学 30 31 96.8% AB 1213 水園植物生態学 25 86 61 95.1% AB 1215 科学英語講読 1 28 30 93.3% AB 1311 広域資源調査学 25 31 80.6% AB 1311 広域資源調査学 25 31 80.6% AB 1311 財物機能形態学 25 31 80.6% AB 1312 動物機能形態学 27 30 96.7% AB 1324 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB 1326 食品タンパク質化学 29 30 96.7% AB 1326 食品タンパク質化学 29 30 96.7% AB 1327 教技権物環境科学 31 31 100.0% AB 1332 酵素化学 78 102.76.5% AB 1401 動物生理科学 29 29 100.9% AB 1414 は物育養生理学 29 29 100.9% AB 1414 は物育様学 11 1 12 91.7% AB 1421 科学英語講読 1 1 1 12 91.7% AB 1442 入門演習 11 1 12 91.7% AB 1442 入門演習 11 1 12 91.7% AB 1451 果樹園茶学 13 31 30.6% AB 1411 味樹園茶学 13 31 31 00.0% AB 1411 果樹園茶学 13 31 31 00.0% AB 1411 果樹園茶学 22 28 78.6% AB 1421 科学英語講読 1 11 12 91.7% AB 1451 果樹園茶学 13 31 31 00.0% AB 1411 果樹園茶学 13 31 31 00.0% AB 1411 果樹園茶学 22 29 90.9% AB 1511 果樹園茶学 20 22 90.9% AB 1513 果樹園花学 20 22 90.9% AB 1515 生物制御化学 41 64 64.1% AB 1451 果樹園茶学 20 22 90.9% AB 1516 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1517 果樹園茶学 20 22 90.9% AB 1516 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1515 生物制砂化学 47 56 83.9%	AB1111	昆虫生理生態学	21	23	91.3%
AB 1113 動物栄養生化学 27 31 87.1% AB 1114 生物海洋学 28 31 90.3% AB 1121 植物発生生理学 39 39 100.0% AB 1131 食用作物学 40 42 95.2% AB 1132 草地科学 29 31 93.5% AB 1133 栄養生理学 37 40 92.5% AB 1134 栄養生理学 29 31 93.5% AB 1134 栄養生理学 29 31 93.5% AB 1141 遺伝育種学 25 30 83.3% AB 1151 動物資源開発学 23 23 100.0% AB 1201 農村地域組織論 9 12 75.0% AB 1202 動物生殖科学 26 29 89.7% AB 1202 動物生殖科学 26 29 89.7% AB 1204 植物栄養生理学 35 40 87.5% AB 1205 科学英語講読 1 29 30 96.7% AB 1211 開発経済学 9 12 75.0% AB 1212 動物微生物科学 30 31 96.8% AB 1213 水園植物生態学 30 31 96.8% AB 1213 水園植物生態学 25 86 61 95.1% AB 1215 科学英語講読 1 28 30 93.3% AB 1311 広域資源調査学 25 31 80.6% AB 1311 広域資源調査学 25 31 80.6% AB 1311 財物機能形態学 25 31 80.6% AB 1312 動物機能形態学 27 30 96.7% AB 1324 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB 1326 食品タンパク質化学 29 30 96.7% AB 1326 食品タンパク質化学 29 30 96.7% AB 1327 教技権物環境科学 31 31 100.0% AB 1332 酵素化学 78 102.76.5% AB 1401 動物生理科学 29 29 100.9% AB 1414 は物育養生理学 29 29 100.9% AB 1414 は物育様学 11 1 12 91.7% AB 1421 科学英語講読 1 1 1 12 91.7% AB 1442 入門演習 11 1 12 91.7% AB 1442 入門演習 11 1 12 91.7% AB 1451 果樹園茶学 13 31 30.6% AB 1411 味樹園茶学 13 31 31 00.0% AB 1411 果樹園茶学 13 31 31 00.0% AB 1411 果樹園茶学 22 28 78.6% AB 1421 科学英語講読 1 11 12 91.7% AB 1451 果樹園茶学 13 31 31 00.0% AB 1411 果樹園茶学 13 31 31 00.0% AB 1411 果樹園茶学 22 29 90.9% AB 1511 果樹園茶学 20 22 90.9% AB 1513 果樹園花学 20 22 90.9% AB 1515 生物制御化学 41 64 64.1% AB 1451 果樹園茶学 20 22 90.9% AB 1516 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1517 果樹園茶学 20 22 90.9% AB 1516 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1515 生物制砂化学 47 56 83.9%	AB1112	地球環境システム論	10	10	100.0%
AB 1114 生物海洋学 39 39 100.0% AB 1131 食用作物学 40 42 95.2% AB 1132 草址科学 29 31 93.5% AB 1134 栄養生理学 37 40 92.5% AB 1134 栄養生理学 37 40 92.5% AB 1134 栄養生理学 37 40 92.5% AB 1134 環境主理学 37 40 92.5% AB 1151 動物資源開発学 25 30 83.3% AB 1151 動物資源開発学 26 29 89.7% AB 1202 動物生植科学 26 29 89.7% AB 1203 水産資源生態学 26 29 89.7% AB 1203 水産資源生態学 35 40 87.5% AB 1204 植物栄養生理学 35 40 87.5% AB 1211 開発経済学 9 12 75.0% AB 1211 財務経済学 9 12 75.0% AB 1211 財務経済学 9 12 75.0% AB 1211 財務経済学 9 12 75.0% AB 1214 微生物生化学 58 61 95.1% AB 1215 科学英語講話 1 28 30 93.3% AB 1311 広域資源調査学 25 29 86.2% AB 1311 広域資源調査学 25 144 86.6% AB 1311 広域資源調査学 25 31 80.6% AB 1312 動物機能形態学 28 28 100.0% AB 1312 動物機能形態学 29 30 96.7% AB 1331 財 広域資源調査学 25 31 80.6% AB 1332 教告植物環境科学 31 31 100.0% AB 1332 財務健植物環境科学 31 31 100.0% AB 1332 財務性が環境科学 31 31 100.0% AB 1332 財務性が環境科学 9 96.7% AB 1401 動物生理科学 29 96.7% AB 1401 動物生理科学 29 90.67% AB 1401 動物生理科学 29 100.0% AB 1411 植物砂塩保管 25 34 73.5% AB 1401 動物生理科学 29 100.0% AB 1412 シレク科学 41 64 64.1% AB 1411 植物砂塩砂香油 25 29 86.2% AB 1411 植物質母香油 25 29 86.2% AB 1411 植物砂塩砂香油 25 29 86.2% AB 1411 植物砂塩砂香油 25 29 86.2% AB 1411 植物質塩香油 25 29 86.2% AB 1411 植物食生香油 25 29 86.2% AB 1411 桂物砂塩砂香油 25 29 86.2% AB 1411 桂物香塩香油 31 31 100.0% AB 1421 科学英語講話 I 11 12 91.7% AB 1442 入門演習 11 12 91.7% AB 1451 長寒経済政策学 13 31 100.0% AB 1451 長寒経済政策学 13 31 100.0% AB 1451 長寒経済政策学 13 31 100.0% AB 1511 果樹園芸学 20 22 99.9% AB 1515 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1515 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1515 生物制化学 47 56 83.9% AB 1515 生物制御化学 41 64 64.1% AB 1515 生物制御化学 47 56 83.9%	AB1113		27	31	
AB 1121 植物発生生理学 40 42 952% AB 1131 食用作物学 40 42 952% AB 1131 食用作物学 29 31 93.5% AB 1133 栄養生理学 37 40 92.5% AB 1141 遺伝育種学 25 30 83.3% AB 1151 動物資源開発学 23 23 100.0% AB 1201 農村地域組織論 9 12 75.0% AB 1202 動物生殖科学 26 29 88.9% AB 1202 動物生殖科学 26 29 88.9% AB 1202 動物生殖科学 35 40 87.5% AB 1205 科学英語講話 I 29 30 96.7% AB 1212 動物微生物科学 30 31 96.8% AB 1213 水園植物生態学 9 12 75.0% AB 1212 動物微生物科学 30 31 96.8% AB 1213 水園植物生態学 9 12 75.0% AB 1213 水園植物生態学 25 29 86.2% AB 1311 広域疫源調査学 25 31 80.6% AB 1311 広域疫源調査学 25 31 80.6% AB 1312 動物機能形態学 25 31 80.6% AB 1312 動物機能形態学 25 31 80.6% AB 1312 動物機能形態学 28 28 100.0% AB 1321 栽培植物環境科学 31 31 100.0% AB 13321 栽培植物環境科学 31 31 100.0% AB 13321 栽培植物環境科学 31 31 100.0% AB 13321 栽培植物環境科学 31 31 100.0% AB 1332 食品 29 96.6% AB 1331 アグリビジネス論 28 30 93.3% AB 1303 アグリビジネス論 28 30 93.3% AB 1304 アグリビジネス論 28 30 93.3% AB 1304 アグリビジネス論 28 30 93.3% AB 1304 アグリビジネス論 28 30 93.3% AB 1405 食品 25 29 30 96.7% AB 1304 アグリビジネス論 28 30 93.3% AB 1404 たり科学 41 64 64 4 8 6 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8				31	
AB 1131 自用作物学 29 31 93.5% AB 1132 草地科学 29 31 93.5% AB 1141 遺伝育種学 25 30 83.3% AB 1151 動物資源開発学 23 123 100.0% AB 1202 動物生殖科学 26 29 89.7% AB 1203 水産資源生態学 26 29 89.7% AB 1203 水産資源生態学 26 29 89.7% AB 1203 水産資源生態学 35 40 87.5% AB 1201 開発経済学 9 12 75.0% AB 1203 水産資源生態学 35 40 87.5% AB 1205 科学英語講読 I 29 30 96.7% AB 1201 開発経済学 9 12 75.0% AB 1201 開発経済学 9 12 75.0% AB 1211 開発経済学 9 12 75.0% AB 1213 水圏植物生態学 30 31 96.8% AB 1213 水圏植物生態学 30 31 96.8% AB 1311 広域資源調査学 25 29 86.2% AB 1214 微生物生化学 58 61 95.1% AB 1311 広域資源調査学 25 144 86.8% AB 1311 広域資源調査学 25 144 86.8% AB 1311 広域資源調査学 25 13 80.6% AB 1311 広域資源調査学 25 31 80.6% AB 1311 大型英語講読 I 28 30 93.3% AB 1332 教告植物環境科学 31 31 100.0% AB 1324 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB 1314 教告植物環境科学 31 31 100.0% AB 1324 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB 1314 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB 1314 教告植物環境科学 31 31 100.0% AB 1324 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB 1314 教告植物環境科学 31 31 100.0% AB 1324 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB 1314 教告植物環境科学 31 31 100.0% AB 1324 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB 1314 表生物生理学 28 29 96.6% AB 1314 表生物生理学 29 30 93.3% AB 1332 AB 1332 AB 1332 AB 1332 AB 1332 AB 1342 XB 28 29 96.6% AB 1415 数物性単学 29 30 93.3% AB 1332 AB 1342 AB 1415 AB 1	AB1121		39	39	
AB 1132 草地科学 29 31 93.5% AB 1134 栄養生理学 37 40 92.55 30 83.3% AB 1151 動物資源開発学 23 23 100.0% AB 1201 農村地域組織論 9 12 75.0% AB 1202 動物生殖科学 26 29 89.7% AB 1204 植物栄養生理学 35 40 87.5% AB 1205 科学英語講読I 29 30 96.7% AB 1211 開発経済学 9 12 75.0% AB 1212 動物微生物科学 30 31 96.8% AB 1213 水園植物生態学 25 29 86.2% AB 1214 微生物生化学 58 61 95.1% AB 1215 科学英語講読I 28 30 93.3% AB 1211 微生物化学 58 61 95.1% AB 1211 放生物化学英語講読I 28 30 93.3% AB 1211 放生物化学英語講読I 28 30 93.3% AB 1311 広域投資源 25 31 80.6% AB 1321 数地機能形態学			***************************************	(0.000000000000000000000000000000000000	
AB 1134 栄養生理学 37 40 92.5% AB 1141 遺伝言種字 25 30 83.3% AB 1151 動物資源開発学 23 23 100.0% AB 1201 農村地域組織論 9 12 75.0% AB 1202 動物生殖科学 26 29 89.7% AB 1202 動物生殖科学 26 29 89.7% AB 1203 水産資源生態学 22 25 88.0% AB 1204 植物栄養生理学 35 40 87.5% AB 1205 科学英語講読 I 29 30 96.7% AB 1211 開発経済学 9 12 75.0% AB 1211 開発経済学 9 12 75.0% AB 1211 財物後生物科学 30 31 96.8% AB 1213 水圏植物生態学 25 29 86.2% AB 1214 微生物生化学 58 61 95.1% AB 1321 科学英語講読 I 28 30 33.3% AB 1301 生物化学 125 144 86.8% AB 1311 広域資源調査学 25 31 80.6% AB 1311 広域資源調査学 25 31 80.6% AB 1312 財物機能形態学 28 28 100.0% AB 1324 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB 1326 食品タンパク質化学 29 30 96.7% AB 1332 酵素化学 78 102 76.5% AB 1401 助物生理科学 29 29 100.0% AB 1401 太陽植物学 28 30 93.3% AB 1401 太陽植物学 25 34 73.5% AB 1401 大科学 41 46 64.1% AB 1411 柱物底染応答学 28 30 93.3% AB 1403 分析有機化学 50 56 89.9% AB 1405 植物底染応答学 28 30 93.3% AB 1411 柱物底染応答学 28 30 93.3% AB 1413 水圏植物学 22 28 78.6% AB 1414 土地生産情報処理概論 31 32 96.9% AB 1415 農経済政学 13 31 30 00.0% AB 1441 土地生産情報処理概論 31 32 96.9% AB 1401 大科学英語講述 11 12 91.7% AB 1503 経営学 12 10 00 AB 1513 現場近光ステム生物学 24 29 82.8% AB 1511 果樹園芸学 20 22 90.9% AB 1511 上世・生学機構論 152 154 80.9% AB 1512 世外経済学 24 29 82.8% AB 1515 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1515 生物制御化学 47	***********************************			(0.000.000.000.000.000.000.000.000.000	
AB 1141 遺伝育種学 25 30 83.3% AB 1151 動物資源開発学 23 100.0% AB 1201 農村地域組織論 9 12 75.0% AB 1203 水産資源生態学 26 29 89.7% AB 1203 水産資源生態学 35 40 87.5% AB 1205 科学英語講読 I 29 30 96.7% AB 1205 科学英語講読 I 29 30 96.7% AB 1211 開発経済学 9 12 75.0% AB 1212 動物微生物科学 30 31 96.8% AB 1212 動物微生物科学 30 31 96.8% AB 1213 水圏植物生態学 25 29 86.2% AB 1214 微生物生化学 58 61 95.1% AB 1215 科学英語講読 I 28 30 93.3% AB 1311 広域資源調査学 25 31 80.6% AB 1311 広域資源調査学 25 31 80.6% AB 1311 広域資源調査学 25 31 80.6% AB 1312 動物機能形態学 28 28 100.0% AB 1324 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB 1324 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB 1332 酵素化学 31 31 100.0% AB 1331 アグリビジネス論 28 30 96.7% AB 1332 酵素化学 29 30 96.7% AB 1340 動物生理科学 29 30 96.7% AB 1340 動物生理科学 29 29 100.0% AB 1340 動物生理科学 29 29 100.0% AB 1401 動物生理科学 20 29 29 100.0% AB 1401 動物生理科学 29 29 29 100.0% AB 1401 動物生理科学 29 29 29 100.0% AB 1401 動物生理科学 20 29 29 100.0% AB 1401 動物生理学 25 34 73.5% AB 1401 動物生理学 25 34 73.5% AB 1401 動物生理学 25 34 73.5% AB 1401 動物生理学 29 29 100.0% AB 1401 動物生理学 29 29 29 100.0% AB 1401 動物生理学 25 34 73.5% AB 1401 動物生理学 20 20 20 90.9% AB 1401 人物資源書 11 12 91.7% AB 1402 科学英語講読 I 11 12 91.7% AB 1402 科学英語講読 I 11 12 91.7% AB 1403 人科学英語講読 I 11 12 91.7% AB 1404 大物産療学 12 12 100.0% AB 1515 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1516 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1516 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1515 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1515 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1516 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1515 生物制御化学 47 56 83.9%			 	(
AB 1151 動物資源開発学 23 23 100.0% AB 1201 農村地域組織論 9 12 75.0% AB 1203 水産資源生態学 26 29 89.7% AB 1204 植物栄養生理学 35 40 87.5% AB 1205 科学英語請託 29 30 96.7% AB 1211 開発経済学 9 12 75.0% AB 1212 動物微生物科学 30 31 96.8% AB 1213 水圏植物生態学 25 29 86.2% AB 1215 科学英語講託 28 30 93.3% AB 1310 広域資源調査学 25 31 80.6% AB 1311 広域資源調査学 25 31 80.6% AB 1311 広域資源調査学 28 28 100.0% AB 1321 栽培植物環境科学 31 31 100.0% AB 1322 栽培植物環境科学 31 31 100.0% AB 1323 栽培植物環境科学 31 31 100.0% AB 1326 食品と少いク質化学 29 30 96.6% AB 1331 アグリビジネス論 28					83.3%
AB 1201 農村地域組織論 9 12 75.0% AB 1202 動物生殖科学 26 29 39.7% AB 1204 植物栄養生理学 35 40 87.5% AB 1205 科学英語講読I 29 30 96.7% AB 1211 開発経済学 9 12 75.0% AB 1212 動物性域生物科学 30 31 96.8% AB 1213 水圏植物生態学 25 29 86.2% AB 1214 微生物生化学 58 61 95.1% AB 13215 科学英語講話I 28 30 93.3% AB 1311 広域資源調査学 25 31 80.6% AB 1321 数的機能形態学 28 28 100.0% AB 1321 栽培植物理科学 31 31 100.0% AB 1322 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB 1326 食品タンパク質化学 29 30 96.7% AB 1331 アグリビジネス論 28 30 93.3% AB 1402 資源生物生理学 29 30 96.7% AB 1401 動物生理科学 29					
AB 1202 動物生殖科学 26 29 89.7% AB 1203 水産資源生態学 22 25 88.0% AB 1204 植物栄養生理学 35 40 87.5% AB 1205 科学英語講託 1 29 30 96.7% AB 1211 開発経済学 9 12 75.0% AB 1211 開発経済学 9 12 75.0% AB 1211 開発経済学 9 12 75.0% AB 1212 動物微生物科学 30 31 96.8% AB 1213 水圏植物生態学 25 29 86.2% AB 1213 水圏植物生態学 25 29 86.2% AB 1214 微生物生化学 58 61 95.1% AB 1215 科学英語講託 1 28 30 93.3% AB 1301 生物化学 125 144 86.8% AB 1311 広域資源調査学 25 31 80.6% AB 1312 動物機能形態学 28 28 100.0% AB 1312 動物機能形態学 28 28 100.0% AB 1321 栽培植物環境科学 31 31 100.0% AB 1321 栽培植物環境科学 31 31 100.0% AB 1321 素畜人工授精論 28 29 96.6% AB 1326 食品タンパク質化学 29 30 96.7% AB 1331 アグリビジネス論 28 30 93.3% AB 1332 酵素化学 78 102 76.5% AB 1403 分析有機化学 29 29 100.0% AB 1404 動物生理科学 29 29 100.0% AB 1404 植物感染応答学 28 30 93.3% AB 1405 植物感染応答学 28 30 93.3% AB 1412 シレク科学 41 64 64.1% AB 1411 植物育種学各論 25 29 86.2% AB 1411 植物彦種学各論 25 29 86.2% AB 1412 シレク科学 41 64 64.1% AB 1413 水圏植物学 22 28 78.6% AB 1412 シレク科学 41 64 64.1% AB 1413 水圏植物学 22 28 78.6% AB 1412 シレク科学 41 64 64.1% AB 1413 水圏植物学 22 28 78.6% AB 1414 社物主産措施 1 11 12 91.7% AB 1501 農学と社会 環境 140 154 90.9% AB 1501 農労と不テム生物学 12 12 100.0% AB 1511 果樹園芸学 20 22 90.9% AB 1511 果娃 20 22 90.9% AB 1511 果樹園芸学 20 22 90.9% AB 1511 果娃 21 20 20 20 90.9% AB 1512 BB 1512 BB 152 BB 152 BB 1514 AB 152 BB 1514 AB 152 BB 1514 AB 152 BB 1514 AB 152					75.0%
AB 1203 水産資源生態学 22 25 88.0% AB 1204 植物栄養生理学 35 40 87.5% AB 1210 科学英語講読I 29 30 96.7% AB 1211 開発経済学 9 12 75.0% AB 1212 動物微生物科学 30 31 96.8% AB 1213 水圏植物生態学 25 29 86.2% AB 1215 科学英語講読I 28 30 93.3% AB 1215 科学英語講読I 28 30 93.3% AB 1301 生物化学 125 144 86.8% AB 1311 広域資源調査学 25 31 80.6% AB 1312 敷労機能形態学 28 28 28 28 28 28 28 100.0% AB 1324 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB 1325 食品タンバク質化学 29 30 96.7% AB 1331 アグリビネス論 28 30 93.3% AB 1432 産婦シンバク質化学 29 30 96.7% AB 1403 対策機能 29 29 100.0%					
AB 1204 植物栄養生理学 35 40 87.5% AB 1205 科学英語講話I 29 30 96.7% AB 1211 開発経済学 9 12 75.0% AB 1212 動物微生物科学 30 31 96.8% AB 1213 水圏植物生態学 25 29 86.2% AB 1214 微生物生化学 58 61 95.1% AB 1315 科学英語講話I 28 30 93.3% AB 1301 生物化学 125 144 86.8% AB 1311 広域資源調査学 25 31 80.6% AB 1321 動物機能形態学 28 28 100.0% AB 1321 栽培植物環境科管 31 31 100.0% AB 1322 栽培植物環境科管 31 31 100.0% AB 1324 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB 1325 食品ターンパク質化学 29 30 96.7% AB 1331 アグリビジネス論 28 30 93.3% AB 1401 動物生理科学 29 29 30 96.7% AB 1403 分析有機化学			·	<u> </u>	
AB 1205 科学英語講読 I 29 30 96.7% AB 1211 開発経済学 9 12 75.0% AB 1212 動物微生物科学 30 31 96.8% AB 1213 水圏植物生態学 25 29 86.2% AB 1215 科学英語講読 I 28 30 93.3% AB 1301 上物化学 125 144 86.8% AB 1311 広域資源調査学 25 31 80.6% AB 1312 動物機能形態学 28 28 100.0% AB 1321 栽培植物環境科学 31 31 100.0% AB 1322 教育人工授精論 28 29 96.6% AB 1322 食品分パク質化学 29 30 96.7% AB 1331 アグリビジネス論 28 30 93.3% AB 1332 酵素化学 28 30 93.3% AB 1401 動物生理科学 29 29 100.0% AB 1402 資源生物生理学 25 34 73.5% AB 1405 植物感染応答学 28 30 93.3% AB 1405 植物感染応答学 28 <				\	
AB 1211 開発経済学 9 12 75.0% AB 1212 動物傑生物科学 30 31 96.8% AB 1213 水圏植物生態学 25 29 86.2% AB 1214 微生物生化学 58 61 95.1% AB 1215 科学英語講託 I 28 30 93.3% AB 1301 生物化学 125 144 86.8% AB 1311 広域資源調査学 25 31 80.6% AB 1321 栽培植物環境科学 31 31 100.0% AB 1322 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB 1326 食品分ンパク質化学 29 30 96.7% AB 1331 アグリビジネス論 28 30 93.3% AB 1402 資源生物生理科学 29 29 100.0% AB 1403 分析有機化学 29 29 100.0% AB 1403 分析有機化学 50 56 89.3% AB 1411 植物育種学各論 25 29 29 100.0% AB 1412 シレク科学 50 56 89.3% 86.2% AB.141 64 <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>					
AB 1212 動物微生物科学 30 31 96.8% AB 1213 水圏植物生態学 25 29 86.2% AB 1214 微生物生化学 58 61 95.1% AB 1215 科学英語講話I 28 30 93.3% AB 1301 生物化学 125 144 86.8% AB 1311 広域資源調査学 25 31 80.6% AB 1312 動物機能形態学 28 28 100.0% AB 1321 栽培植物環境科学 31 31 100.0% AB 13224 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB 1323 食品タンパク質化学 29 30 96.7% AB 1331 アグリビジネス論 28 30 93.3% AB 1402 資源生物生理科学 29 29 100.0% AB 1401 動物生理科学 29 29 100.0% AB 1402 資源生物生理学 25 34 73.5% AB 1403 分析有機化学 50 56 89.3% AB 1405 植物商染染浴管 28 30 93.3% AB 1411 植物育建学 22					
AB 1213 水圏植物生態学 25 29 86.2% AB 1214 微生物生化学 58 61 95.1% AB 1301 科学英語講話I 28 30 93.3% AB 1301 広域資源調査学 125 144 86.8% AB 1311 広域資源調査学 25 31 80.6% AB 1312 動物機能形態学 28 28 100.0% AB 1321 栽培植物環境科学 31 31 100.0% AB 1326 食品タンパク質化学 29 30 96.7% AB 1332 酵素化学 28 30 93.3% AB 1332 酵素化学 78 102 76.5% AB 1401 動物生理科学 29 29 100.0% AB 1402 資源生物生理学 29 29 100.0% AB 1403 分析有機化学 50 56 89.3% AB 1403 分析有機化学 28 30 93.3% AB 1411 植物感染応答学 28 30 93.3% AB 1412 動ル科学 41 64 64.1% AB 1413 水園植物産業応答学 13 <t< td=""><td></td><td></td><td>}</td><td>ţ</td><td></td></t<>			}	ţ	
AB 1214 微生物生化学 58 61 95.1% AB 1215 科学英語講読 I 28 30 93.3% AB 13001 生物化学 125 144 86.8% AB 1311 広域資源調査学 25 31 30.6% AB 1312 動物機能形態学 28 28 100.0% AB 1324 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB 1326 食品タンパク質化学 29 30 96.7% AB 1331 アグリビジネス論 28 30 93.3% AB 1401 動物生理科学 29 29 100.0% AB 1402 資源生物生理学 25 34 73.5% AB 1403 分析有機化学 50 56 89.3% AB 1404 植物感染応答学 28 30 93.3% AB 1401 植物感染応答学 28 30 93.3% AB 1411 植物原連学各論 25 29 86.2% AB 1412 シレク科学 41 64 64.1% AB 1413 水園植物学 22 28 78.6% AB 1421 科学英語講読 1	AB 1212	動物微生物科字			
AB 1215 科学英語講読 I 28 30 93.3% AB 1301 生物化学 125 144 86.8% AB 1311 広域資源調査学 25 31 80.6% AB 1312 動物機能形態学 28 28 100.0% AB 1324 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB 1326 食品タンペク質化学 29 30 96.7% AB 1331 アグリビジネス論 28 30 93.3% AB 1401 動物生理科学 29 29 100.0% AB 1401 動物生理科学 29 29 100.0% AB 1402 資源生物生理学 25 34 73.5% AB 1403 分析有機化学 50 56 89.3% AB 1405 植物感染応答学 28 30 93.3% AB 1411 植物感染応答学 28 30 93.3% AB 1412 シレク科学 41 64 64.1% AB 1413 水園植物 学 22 28 78.6% AB 1421 科学英語講読 1 1 12 91.7% AB 1421 科学英語講託 1				<i>,</i> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
AB1301 生物化学 125 144 86.8% AB1311 広域資源調査学 25 31 80.6% AB1312 動物機能形態学 28 28 100.0% AB1321 栽培植物環境科学 31 31 100.0% AB13224 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB1332 食品タンパク質化学 29 30 96.7% AB1331 アグリビジネス論 28 30 93.3% AB1332 酵素化学 78 102 76.5% AB1401 動物生理科学 29 29 100.0% AB1402 資源生物生理学 25 34 73.5% AB1403 分析有機化学 50 56 89.3% AB1405 植物感染応答学 28 30 93.3% AB1411 植物育種学各論 25 29 86.2% AB1412 シレク科学 41 64 64.1% AB1413 水圏植物学 22 28 78.6% AB1421 科学英語請託 11 12 <t< td=""><td>AB1214</td><td>微生物生化学</td><td></td><td></td><td>95.1%</td></t<>	AB1214	微生物生化学			95.1%
AB1311 広域資源調査学 25 31 80.6% AB1312 動物機能形態学 28 28 100.0% AB1321 栽培植物環境科学 31 31 100.0% AB1324 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB1331 アグリビジネス論 28 30 93.3% AB1332 酵素化学 78 102 76.5% AB1401 動物生理科学 29 29 100.0% AB1402 資源生物生理学 25 34 73.5% AB1403 分析有機化学 50 56 89.3% AB1405 植物感染応答学 28 30 93.3% AB1411 植物育種学各論 25 29 86.2% AB1412 シレク科学 41 64 64.1% AB1413 水圏植物学 22 28 78.6% AB1421 科学英語講託 I 11 12 91.7% AB1421 科学英語講託 I 11 12 91.7% AB1421 科学英語講託 I 11 12 91.7% AB1501 農学と社会 環境 11 12	AB1215	科学英語講読 [
AB1312 動物機能形態学 28 28 100.0% AB1321 栽培植物環境科学 31 31 100.0% AB1324 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB1326 食品タンパク質化学 29 30 96.7% AB1331 アグリビジネス論 28 30 93.3% AB1332 酵素化学 78 102 76.5% AB1401 動物生理科学 29 29 100.0% AB1402 資源生物生理学 25 34 73.5% AB1403 分析有機化学 50 56 89.3% AB1405 植物感染応答学 28 30 93.3% AB1411 植物育種学各論 25 29 86.2% AB1412 ミレク科学 41 64 64.1% AB1413 水圏植物学 22 28 78.6% AB1415 農業経済政策学 13 13 100.0% AB1421 科学英語講読I 11 12 91.7% AB1501 農学と社会環境 12 12 10.0% AB1501 農学と社会環境 10 154		生物化学			
AB1321 栽培植物環境科学 31 31 100.0% AB1324 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB1326 食品タンパク質化学 29 30 96.7% AB1331 アグリビジネス論 28 30 93.3% AB1332 酵素化学 78 102 76.5% AB1401 動物生理科学 29 29 100.0% AB1402 資源生物生理学 25 34 73.5% AB1403 分析有機化学 50 56 89.3% AB1405 植物感染応答学 28 30 93.3% AB1411 植物高染応答学 28 30 93.3% AB1412 ミレク科学 41 64 64.1% AB1413 水圏植物学 22 28 78.6% AB1415 農業経済政策学 13 100.0% AB1421 科学英語講読I 11 12 91.7% AB1422 科学英語講読I 23 23 100.0% AB1501 農学と社会・環境 10 154 90.9% AB1501 農学と社会・環境 14 154 90.9%	AB1311	広域資源調査学	25	31	
AB 1321 栽培植物環境科学 31 31 100.0% AB 1324 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB 1326 食品タンパク質化学 29 30 96.7% AB 1331 アグリビジネス論 28 30 93.3% AB 1332 酵素化学 78 102 76.5% AB 1401 動物生理科学 29 29 100.0% AB 1402 資源生物生理学 25 34 73.5% AB 1403 分析有機化学 50 56 89.3% AB 1405 植物感染応答学 28 30 93.3% AB 1411 植物育種学各論 25 29 86.2% AB 1412 ミレク科学 41 64 64.1% AB 1413 水圏植物学 22 28 78.6% AB 1415 農業経済政策学 13 100.0% AB 1421 科学英語講読I 11 12 91.7% AB 1422 科学英語講読I 23 23 100.0% AB 1501 農学と社会・環境 14 154 90.9% AB 1501 農学と社会・環境 14 154	AB1312	動物機能形態学	28	28	100.0%
AB1324 家畜人工授精論 28 29 96.6% AB1326 食品タンパク質化学 29 30 96.7% AB1331 アグリビジネス論 28 30 93.3% AB1402 資源生物生理科学 29 29 100.0% AB1402 資源生物生理学 25 34 73.5% AB1403 分析有機化学 50 56 89.3% AB1405 植物感染応答学 28 30 93.3% AB1411 植物感染応答学 28 30 93.3% AB1412 ミレク科学 41 64 64.1% AB1413 水圏植物学 22 28 78.6% AB1415 農業経済政策学 13 13 100.0% AB1421 科学英語講読I 23 23 100.0% AB1422 科学英語講読I 23 23 100.0% AB1441 生物生産情報処理概論 31 32 96.9% AB1501 農学と社会環境 140 154 90.9% AB1501 農労と社会環境 140 154 90.9% AB1513 環境 140 154	AB1321	栽培植物環境科学	31	31	100.0%
AB1331 アグリビジネス論 28 30 93.3% AB1332 酵素化学 78 102 76.5% AB1401 動物生理科学 29 29 100.0% AB1402 資源生物生理学 25 34 73.5% AB1403 分析有機化学 50 56 89.3% AB1405 植物感染応答学 28 30 93.3% AB1411 植物商業応答学 28 30 93.3% AB1412 シレク科学 41 64 64.1% AB1413 水園植物学 22 28 78.6% AB1415 農業経済政策学 13 13 100.0% AB1421 科学英語講読 I 11 12 91.7% AB1422 科学英語講読 I 23 23 100.0% AB1441 生物生産情報処理概論 31 32 96.9% AB1501 農学と社会 環境 10 154 90.9% AB1501 農労と社会 環境 12 12 10.00% AB1511 果樹園芸学 20 22 90.9% AB1513 環境ステム生物学 24 29			28	29	96.6%
AB1331 アグリビジネス論 28 30 93.3% AB1332 酵素化学 78 102 76.5% AB1401 動物生理科学 29 29 100.0% AB1402 資源生物生理学 25 34 73.5% AB1403 分析有機化学 50 56 89.3% AB1405 植物感染応答学 28 30 93.3% AB1411 植物商業応答学 28 30 93.3% AB1412 シレク科学 41 64 64.1% AB1413 水園植物学 22 28 78.6% AB1415 農業経済政策学 13 13 100.0% AB1421 科学英語講読 I 11 12 91.7% AB1422 科学英語講読 I 23 23 100.0% AB1441 生物生産情報処理概論 31 32 96.9% AB1501 農学と社会 環境 10 154 90.9% AB1501 農労と社会 環境 12 12 10.00% AB1511 果樹園芸学 20 22 90.9% AB1513 環境ステム生物学 24 29	AB1326	食品タンパク質化学	29	30	96.7%
AB 1332 酵素化学 78 102 76.5% AB 1401 動物生理科学 29 29 100.0% AB 1402 資源生物生理学 25 34 73.5% AB 1403 分析有機化学 50 56 89.3% AB 1405 植物感染応答学 28 30 93.3% AB 1411 植物感染応答学 28 30 93.3% AB 1412 シレク科学 41 64 64.1% AB 1413 水圏植物学 22 28 78.6% AB 1415 農業経済政策学 13 13 100.0% AB 1421 科学英語講読I 11 12 91.7% AB 1422 科学英語講読I 23 23 100.0% AB 1441 生物生產情報処理概論 31 32 96.9% AB 1501 農学と社会環境 14 154 90.9% AB 1501 農学と社会環境 10 154 90.9% AB 1511 果樹園芸学 20 22 90.9% AB 1513 環境システム生物学 24 29 82.8% AB 1513 環境システム生物学 24	AB1331	アグリビジネス論	28	30	
AB 1401 動物生理科学 29 29 100.0% AB 1402 資源生物生理学 25 34 73.5% AB 1403 分析有機化学 50 56 89.3% AB 1405 植物感染応答学 28 30 93.3% AB 1411 植物商種学各論 25 29 86.2% AB 1412 シレク科学 41 64 64.1% AB 1413 水圏植物学 22 28 78.6% AB 1415 農業経済政策学 13 13 100.0% AB 1421 科学英語講読 I 11 12 91.7% AB 1422 科学英語講読 I 23 23 100.0% AB 1441 生物生産情報処理概論 31 32 96.9% AB 1501 農学と社会環境 140 154 90.9% AB 1501 農学と社会環境 140 154 90.9% AB 1511 果樹園去学 20 22 90.9% AB 1513 環境システム生物学 24 29 82.8% AB 1513 東樹園去学 20 22 90.9% AB 1515 生物制御仕学 24					
AB 1402 資源生物生理学 25 34 73.5% AB 1403 分析有機化学 50 56 89.3% AB 1405 植物感染応答学 28 30 93.3% AB 1411 植物育理学各論 25 29 86.2% AB 1412 シレク科学 41 64 64.1% AB 1415 農業経済政策学 13 13 100.0% AB 1421 科学英語講読 I 11 12 91.7% AB 1422 科学英語講読 I 23 23 100.0% AB 1441 生物生產情報処理概論 31 32 96.9% AB 1501 農学と社会環境 140 154 90.9% AB 1501 農学と社会環境 140 154 90.9% AB 1513 経営学 12 12 100.0% AB 1511 果樹園芸学 20 22 90.9% AB 1513 環境システム生物学 24 29 82.8% AB 1514 水産利用学 21 29 72.4% AB 1515 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1551 生物制御化学 47	AB1401	動物生理科学			
AB 1403 分析有機化学 50 56 89.3% AB 1405 植物感染応答学 28 30 93.3% AB 1411 植物育種学各論 25 29 86.2% AB 1412 ミレク科学 41 64 64.1% AB 1413 水圏植物学 22 28 78.6% AB 1415 農業経済政策学 13 13 100.0% AB 1421 科学英語講読I 11 12 91.7% AB 1422 科学英語講読I 23 23 100.0% AB 1441 生物生產情報処理概論 31 32 96.9% AB 1501 農学と社会環境 140 154 90.9% AB 1501 農学と社会環境 140 154 90.9% AB 1511 果樹園芸学 20 22 90.9% AB 1513 環境システム生物学 24 29 82.8% AB 1514 水産利用学 21 29 72.4% AB 1515 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1521 生理・生態学概論 152 154 98.7% AB 1522 政治経済学 12 10.00%	AB1402	<u> </u>			
AB 1405 植物感染応答学 28 30 93.3% AB 1411 植物育種学各論 25 29 86.2% AB 1412 ミレク科学 41 64 64.1% AB 1413 水圏植物学 22 28 78.6% AB 1415 農業経済政策学 13 13 100.0% AB 1421 科学英語講読 I 23 23 100.0% AB 1422 科学英語講読 I 23 23 100.0% AB 1441 生物生產情報処理概論 31 32 96.9% AB 1501 農学と社会・環境 140 154 90.9% AB 1501 農学と社会・環境 140 154 90.9% AB 1503 経営学 12 12 100.0% AB 1511 果樹園芸学 20 22 90.9% AB 1513 環境ステムナム生物学 24 29 82.8% AB 1514 水産利用学 21 29 72.4% AB 1515 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1521 生理・生態学概論 152 154 98.7% AB 1522 政治経済学 12				<i>,</i> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
AB 1411 植物育種学各論 25 29 86.2% AB 1412 シレク科学 41 64 64.1% AB 1413 水圏植物学 22 28 78.6% AB 1415 農業経済政策学 13 13 100.0% AB 1421 科学英語講読 I 11 12 91.7% AB 1422 科学英語講読 I 23 23 100.0% AB 1441 生物生産情報処理概論 31 32 96.9% AB 1501 農学と社会 環境 140 154 90.9% AB 1503 経営学 12 12 100.0% AB 1511 果樹園芸学 20 22 90.9% AB 1513 環境システム生物学 24 29 82.8% AB 1515 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1515 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1521 生理 生態学概論 152 154 98.7% AB 1522 政治経済学 12 10.00%					
AB 1412 ミレク科学 41 64 64.1% AB 1413 水圏植物学 22 28 78.6% AB 1415 農業経済政策学 13 13 100.0% AB 1421 科学英語講読 I 11 12 91.7% AB 1442 科学英語講読 I 23 23 100.0% AB 1441 生物生產情報処理概論 31 32 96.9% AB 1501 農学と社会 環境 140 154 90.9% AB 1503 経営学 12 12 100.0% AB 1511 果樹園芸学 20 22 90.9% AB 1513 環境システム生物学 24 29 82.8% AB 1514 水産利用学 21 29 72.4% AB 1515 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1521 生理 生態学概論 152 154 98.7% AB 1522 政治経済学 12 100.0%					86.2%
AB 1413 水圏植物学 22 28 78.6% AB 1415 農業経済政策学 13 13 100.0% AB 1421 科学英語講読 I 11 12 91.7% AB 1422 科学英語講読 I 23 23 100.0% AB 1441 生物生産情報処理概論 31 32 96.9% AB 1442 入門演習 11 12 91.7% AB 1501 農学と社会・環境 140 154 90.9% AB 1503 経営学 12 12 100.0% AB 1511 果樹園芸学 20 22 90.9% AB 1513 環境システム生物学 24 29 82.8% AB 1514 水産利用学 21 29 72.4% AB 1515 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1521 生理・生態学概論 152 154 98.7% AB 1522 政治経済学 12 10.0.0%			}	}	
AB 1415 農業経済政策学 13 100.0% AB 1421 科学英語講読 I 11 12 91.7% AB 1422 科学英語講読 I 23 23 100.0% AB 1441 生物生産情報処理概論 31 32 96.9% AB 1501 農学と社会・環境 11 12 91.7% AB 1503 経営学 12 12 100.0% AB 1511 果樹園芸学 20 22 90.9% AB 1513 環境システム生物学 24 29 82.8% AB 1514 水産利用学 21 29 72.4% AB 1515 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1521 生理・生態学概論 152 154 98.7% AB 1522 政治経済学 12 10.0.0%		水圏植物学			
AB 1421 科学英語講読 I 11 12 91.7% AB 1422 科学英語講読 I 23 23 100.0% AB 1441 生物生產情報処理概論 31 32 96.9% AB 1442 入門演習 11 12 91.7% AB 1501 農学と社会・環境 140 154 90.9% AB 1503 経営学 12 12 100.0% AB 1511 果樹園芸学 20 22 90.9% AB 1513 環境システム生物学 24 29 82.8% AB 1514 水産利用学 21 29 72.4% AB 1515 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1521 生理・生態学概論 152 154 98.7% AB 1522 政治経済学 12 10.0.0%		小 <u>宫</u> 胆初士 典	[
AB 1422 科学英語講読 I 23 23 100.0% AB 1441 生物生産情報処理概論 31 32 96.9% AB 1442 入門演習 11 12 91.7% AB 1501 農学と社会・環境 140 154 90.9% AB 1503 経営学 12 12 100.0% AB 1511 果樹園芸学 20 22 90.9% AB 1513 環境システム生物学 24 29 82.8% AB 1514 水産利用学 21 29 72.4% AB 1515 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1521 生理・生態学概論 152 154 98.7% AB 1522 政治経済学 12 12 100.0%		辰未柱// 以來于 到 尚 举 語 建 註 :			
AB 1441 生物生産情報処理概論 31 32 96.9% AB 1442 入門演習 11 12 91.7% AB 1501 農学と社会環境 140 154 90.9% AB 1503 経営学 12 12 100.0% AB 1511 果樹園芸学 20 22 90.9% AB 1513 環境システム生物学 24 29 82.8% AB 1514 水産利用学 21 29 72.4% AB 1515 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1521 生理・生態学概論 152 154 98.7% AB 1522 政治経済学 12 100.0%					
AB 1442 入門演習 11 12 91.7% AB 1501 農学と社会・環境 140 154 90.9% AB 1503 経営学 12 12 100.0% AB 1511 果樹園芸学 20 22 90.9% AB 1513 環境システム生物学 24 29 82.8% AB 1514 水産利用学 21 29 72.4% AB 1515 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1521 生理・生態学概論 152 154 98.7% AB 1522 政治経済学 12 100.0%				<i>,</i> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
AB 1501 農学と社会・環境 140 154 90.9% AB 1503 経営学 12 12 100.0% AB 1511 果樹園芸学 20 22 90.9% AB 1513 環境システム生物学 24 29 82.8% AB 1514 水産利用学 21 29 72.4% AB 1515 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1521 生理・生態学概論 152 154 98.7% AB 1522 政治経済学 12 100.0%				}	
AB 1503 経営学 12 12 100.0% AB 1511 果樹園芸学 20 22 90.9% AB 1513 環境システム生物学 24 29 82.8% AB 1514 水産利用学 21 29 72.4% AB 1515 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1521 生理・生態学概論 152 154 98.7% AB 1522 政治経済学 12 100.0%					
AB 1511 果樹園芸学 20 22 90.9% AB 1513 環境システム生物学 24 29 82.8% AB 1514 水産利用学 21 29 72.4% AB 1515 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1521 生理・生態学概論 152 154 98.7% AB 1522 政治経済学 12 12 100.0%			}	·····	
AB 1513 環境システム生物学 24 29 82.8% AB 1514 水産利用学 21 29 72.4% AB 1515 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1521 生理・生態学概論 152 154 98.7% AB 1522 政治経済学 12 12 100.0%					
AB 1514 水産利用学 21 29 72.4% AB 1515 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1521 生理 生態学概論 152 154 98.7% AB 1522 政治経済学 12 12 100.0%	AB 1511	果樹園芸字			
AB 1515 生物制御化学 47 56 83.9% AB 1521 生理 生態学概論 152 154 98.7% AB 1522 政治経済学 12 12 100.0%					
AB 1521 生理 生態学概論 152 154 98.7% AB 1522 政治経済学 12 12 100.0%					
AB1522 政治経済学 12 100.0%	AB 1515			•	
				·	
LAD 4500 LIV =50 W				/	100.0%
AB 1523 物理化学 88 115 76.5%	AB 1523	物理化学	88	115	76.5%
AB1532 環境と倫理 8 14 57.1%	AB1532	環境と倫理	8	14	57.1%

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AB 1533	生物統計学	33	37	89.2%
AB 1541	現代における農と農学	158	160	98.8%
AB 1542	植物遺伝学	31	31	100.0%
AB 1543	ミクロ経済学	13	14	92.9%
AB 1551	応用土壌学	18	24	75.0%
AB1561	植物生命科学入門	29	29	100.0%
AB1611	陸圏環境コミュニケーション論	152	160	95.0%
AB1631	科学英語講読 I	30	31	96.8%
AB1641	資源環境経済学特別講義 I	15	15	100.0%
AB1642	動物寄生体学	22	23	95.7%
AB 1656	農学英語	1	1	100.0%
AB1701	生産フィールト実習Ⅰ/Ⅱ/農場実習A	42	42	100.0%
AB 2322	日本農業史	17	17	100.0%
AB 2643	公衆衛生学	48	61	78.7%
AB 2663	復興農学	30	44	68.2%
AB57141	資源環境経済学演習 I	12	12	100.0%
AB57151	フィール ド社会技術学演習 Ι	1	1	100.0%
AB57171	特別演習I	1	1	100.0%
AB57181	経営経済学演習 I	5	5	100.0%
AB57191	開発経済学演習I	3	3	100.0%

東北大学農学部実習・実験に関するアンケート集計結果 (平成29年度1学期) 時間割コード | 科目名

時間割コート	科目名	アンケー N提出者数		回収率
AB0000	全科目合計	529	530	99.8%
AB5711102	学生実験 作物学)	31	31	100.0%
AB5711104	学生実験 仕壌立地学)	31	31	100.0%
AB5711106	学生実験 環境適応生物工学)	31	31	100.0%
AB5711107	学生実験 生物制御機能学)	30	30	100.0%
AB5711108	学生実験 植物遺伝育種学)	30	30	100.0%
AB5711109	学生実験 植物病理学)	27	27	100.0%
AB5721102	学生実験 動物遺伝育種学)	28	28	100.0%
AB5721103	学生実験 動物生理科学)	26	26	100.0%
AB5721106	学生実験 機能形態学)	28	29	96.6%
AB5731101	学生実験 水圏動物生理学)	24	24	100.0%
AB5731103	学生実験 水圏植物生態学)	23	23	100.0%
AB5731104	学生実験 水産資源化学)	24	24	100.0%
AB5731106	学生実験 生物海洋学)	24	24	100.0%
AB5741104	学生実験 分子酵素学)	29	29	100.0%
AB5741105	学生実験 応用微生物学)	29	29	100.0%
AB5741106	学生実験 生物有機化学)	29	29	100.0%
AB5751103	学生実験 機能分子解析学)	27	27	100.0%
AB5751109	学生実験 活性分子動態)	30	30	100.0%
AB5751110	学生実験 応用生命分子解析)	28	28	100.0%

東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果 呼成29年度2学期)

時間割コード					
ealistica	科目名	アンケー	l提出者数	受講者数	回収率
AB 0000	全科目合計		1,687	1,963	85.9%
AB1562	現代日本農業論		9	13	69.2%
AB2101	基礎土壌学		36	44	81.8%
AB2102	生物有機化学		72	93	77.4%
AB2113	食品組織学		10	16	62.5%
AB2114	科学英語講読 Ⅱ		30	30	100.0%
AB2121	資源動物生態学		13	13	100.0%
AB2122	~		28	29	96.6%
	植物細胞生化学		56	59	94.9%
	植物保護学		13	13	100.0%
	学術情報リテラシー		26	28	92.9%
AB 2133	ナツ 同様 グブラン 農村社会学		9	14	64.3%
	植物系微生物サイエンス		53	58	91.4%
	他物宗城王初りイエンへ 食品加工学		84	94	89.4%
			38	41	92.7%
	植物生産科学			33	
	藻類機能学		28		84.8%
	微生物サイエンス		12	19	63.2%
	動物遺伝育種学		26	29	89.7%
	水産増殖学		24	26	92.3%
AB 2205	生理活性化学		29	35	82.9%
	比較農業論		14	16	87.5%
	食品機能工学		28	29	96.6%
AB2221	バイオインフォマテックス概論		48	65	73.8%
AB 2301	野菜園芸学		32	35	91.4%
AB 2304	プランクトン学		20	22	90.9%
AB 2312	水圏無脊椎動物学		16	25	64.0%
AB 2313	科学英語講読 Ⅱ		31	31	100.0%
AB2314	環境評価学		11	13	84.6%
AB 2321	植物病理学		33	34	97.1%
	免疫科学		57	60	95.0%
AB 2324	水産化学		30	33	90.9%
AB 2331	森林生態論		29	38	76.3%
AB 2333	生命情報解析学		23	29	79.3%
AB 2341	フードシステム論		17	17	100.0%
AB 2342	動物組織細胞学		55	60	91.7%
	植物分子生理学		46	66	69.7%
	遺伝子工学		98	101	97.0%
AB 2402	<u> </u>		6	6	100.0%
AB 2403	無為 無類学		20	28	71.4%
AB 2404	反応生物化学		29	34	85.3%
AB 2413	動物食品機能学		56	68	82.4%
			6	13	46.2%
	科学英語講読Ⅱ 科学英語講読Ⅱ				
	科学英語講読Ⅱ		17	23	73.9%
	科学英語講読Ⅱ		26	26	100.0%
	植物育種学		34	36	94.4%
	経済統計学		10	14	71.4%
	観賞園芸学		14	16	87.5%
	昆虫学		28	31	90.3%
AB 2522	マクロ経済学		9	11	81.8%
AB 2523	栄養化学		93	115	80.9%
	水産食品管理学		16	17	94.1%
AB 2551	植物生理学		30	33	90.9%
AB 2552	資源生物生理学		31	34	91.2%
AB 2564	専門科学英語基礎		6	6	100.0%
ND 2004					

時間割コード	科目名	アンケー ト提出者数	受講者数	回収率
AB 2642	漁具漁法学	14	26	53.8%
AB 2645	飼料科学	8	9	88.9%
AB 2652	科学英語講読Ⅳ	4	4	100.0%
AB 57142	資源環境経済学演習 Ⅱ	8	12	66.7%
AB 57152	フィールト社会技術学演習Ⅱ	2	2	100.0%
AB 57192	開発経済学演習 Ⅱ	2	2	100.0%
AB 57202	環境経済学演習 Ⅱ	5	5	100.0%

東北大学農学部実習 実験に関するアンケート集計結果 平成29年度2学期)

時間割コード 科目名 アンケート提出者数 受講者数 回収率 AB 0000 全科目合計 292 292 100.0% AB 5711102 学生実験(作物学・植物解剖学実験) 28 28 100.0% AB 5711103 学生実験(重要学) 30 30 100.0% AB 5711104 学生実験(主壌立地学)① 30 30 100.0% AB 5721101 学生実験(動物環境システム学) 29 29 100.0% AB 5721108 学生実験(動物後生化学) 18 18 100.0% AB 5721109 学生実験(動物後生物学) 28 28 100.0% AB 5741101 学生実験(動物資源化学) 24 24 100.0% AB 5741103 学生実験(か子生物学) 29 29 100.0% AB 5741105 学生実験(か子生物学) 29 29 100.0% AB 5741105 学生実験(か子生物学) 29 29 100.0% AB 5741105 学生実験(か子生物学) 29 29 100.0% AB 5741103 学生実験(か子生物学) 25 25 100.0% AB 5741103 学生実験(か子生物学) 26 26 100.0%	<u> </u>	<u> </u>	1 1944 V T 1944 T 1917		
AB 5711102 学生実験 作物学・植物解剖学実験) 28 28 100.0% AB 5711103 学生実験 園芸学) 30 30 100.0% AB 57111041 学生実験 土壌立地学)① 30 30 100.0% AB 5721101 学生実験 動物環境システム学) 29 29 100.0% AB 5721107 学生実験 動物栄養生化学) 18 18 100.0% AB 5721108 学生実験 動物微生物学) 28 28 100.0% AB 5721109 学生実験 動物流化学) 24 24 100.0% AB 5721101 学生実験 植物細胞生化学) 25 25 100.0% AB 5741103 学生実験 分子生物学) 29 29 100.0% AB 5741105 学生実験 応用微生物学) 29 29 100.0% AB 5741105 学生実験 応用微生物学) 25 25 100.0%	時間割コード	科目名	アンケー ト提出者数	受講者数	回収率
AB 5711103 学生実験 園芸学) 30 30 100.0% AB 57111041 学生実験 仕壌立地学)① 30 30 100.0% AB 5721101 学生実験 動物環境システム学) 29 29 100.0% AB 5721107 学生実験 動物策養生化学) 18 18 100.0% AB 5721108 学生実験 動物微生物学) 28 28 100.0% AB 5721109 学生実験 動物資源化学) 24 24 100.0% AB 5721101 学生実験 植物細胞生化学) 25 25 100.0% AB 5741103 学生実験 が子生物学) 29 29 100.0% AB 5741105 学生実験 応用微生物学) 25 25 100.0%	AB 0000	全科目合計	292	292	100.0%
AB 57111041 学生実験 仕壌立地学)① 30 30 100.0% AB 5721101 学生実験 動物環境システム学) 29 29 100.0% AB 5721107 学生実験 動物栄養生化学) 18 18 100.0% AB 5721108 学生実験 動物微生物学) 28 28 100.0% AB 5721109 学生実験 動物資源化学) 24 24 100.0% AB 5741101 学生実験 植物細胞生化学) 25 25 100.0% AB 5741103 学生実験 分子生物学) 29 29 100.0% AB 5741105 学生実験 応用微生物学) 25 25 100.0%	AB 5711102	学生実験 作物学・植物解剖学実験)	28	28	100.0%
AB 5721101 学生実験 動物環境システム学) 29 29 100.0% AB 5721107 学生実験 動物栄養生化学) 18 18 100.0% AB 5721108 学生実験 動物微生物学) 28 28 100.0% AB 5721109 学生実験 動物資源化学) 24 24 100.0% AB 5741101 学生実験 植物細胞生化学) 25 25 100.0% AB 5741103 学生実験 分子生物学) 29 29 100.0% AB 5741105 学生実験 応用微生物学) 25 25 100.0%	AB 5711103	学生実験 園芸学)	30	30	100.0%
AB 5721107 学生実験 動物栄養生化学) 18 18 100.0% AB 5721108 学生実験 動物微生物学) 28 28 100.0% AB 5721109 学生実験 動物資源化学) 24 24 100.0% AB 5741101 学生実験 植物細胞生化学) 25 25 100.0% AB 5741103 学生実験 分子生物学) 29 29 100.0% AB 5741105 学生実験 応用微生物学) 25 25 100.0%	AB57111041	学生実験 仕壌立地学)①	30	30	100.0%
AB 5721108 学生実験 動物微生物学) 28 28 100.0% AB 5721109 学生実験 動物資源化学) 24 24 100.0% AB 5741101 学生実験 植物細胞生化学) 25 25 100.0% AB 5741103 学生実験 分子生物学) 29 29 100.0% AB 5741105 学生実験 応用微生物学) 25 25 100.0%	AB 5721101	学生実験 動物環境システム学)	29	29	100.0%
AB 5721109 学生実験 動物資源化学) 24 24 100.0% AB 5741101 学生実験 植物細胞生化学) 25 25 100.0% AB 5741103 学生実験 分子生物学) 29 29 100.0% AB 5741105 学生実験 応用微生物学) 25 25 100.0%	AB 5721107	学生実験 動物栄養生化学)	18	18	100.0%
AB 5741101 学生実験 植物細胞生化学) 25 25 100.0% AB 5741103 学生実験 分子生物学) 29 29 100.0% AB 5741105 学生実験 応用微生物学) 25 25 100.0%	AB 5721108	学生実験 動物微生物学)	28	28	100.0%
AB 5741103 学生実験 分子生物学) 29 29 100.0% AB 5741105 学生実験 応用微生物学) 25 25 100.0%	AB 5721109	学生実験 動物資源化学)	24	24	100.0%
AB 5741105 学生実験 応用微生物学) 25 25 100.0%	AB 5741101	学生実験 植物細胞生化学)	25	25	100.0%
	AB 5741103	学生実験 分子生物学)	29	29	100.0%
AP 5751102 党件宝联 (公養党) 26 100.0₩	AB 5741105	学生実験 応用微生物学)	25	25	100.0%
AD 3 / 3 1 1 1 2 2 1 1 1 1 1	AB 5751102	学生実験 栄養学)	26	26	100.0%

学生諸君へ

農学部の学生による授業評価の実施について

平成29年度第1学期に開講される授業科目について、下記のとおり学生による授業評価を実施します。

この授業評価は、農学部の授業と教育システムを改善するための参考資料となるものであり、学生諸君の授業に対する考えを把握することにより、今後の授業改善につながることが期待されます。

学生諸君全員の理解と協力をお願いします。

記

1. 対象授業科目について

奇数セメスターに開講される農学部専門教育科目について実施します。

2. 実施方法

授業中に授業担当教員からアンケート用紙が配付されるので、黒鉛筆で記入し、授業担当教員から依頼された学生が用紙を回収し、教務係に提出して下さい。

3. 評価結果の取り扱い

この評価結果は集計の後公表し、今後の農学部の授業改善の参考となります。

平成29年5月

農学部長

学生諸君へ

農学部の学生による実験・実習評価の実施について

平成29年度に開講される実験・実習について、下記のとおり学生による授業評価を実施します。

この実験・実習評価は、農学部の実験・実習と教育システムを改善するための参考資料となるものであり、学生諸君の実験・実習に対する考えを把握することにより、今後の実験・実習の改善につながることが期待されます。

学生諸君全員の理解と協力をお願いします。

記

- 1. 対象実験・実習科目について 平成29年度に開講される実験・実習科目について実施します。
- 2. 実施方法

実験・実習中に担当教員からアンケート用紙が配付されるので、黒鉛筆で記入し、担当教員から依頼された学生が用紙を回収し、教務係に提出して下さい。

3. 評価結果の取り扱い

この評価結果は集計の後公表し、今後の農学部の実験・実習の改善の参考となります。

平成29年5月

農学部長

農学部授業担当教員 各位

農学部評価室長

学生による授業評価の実施について(依頼)

このことについて、第1学期に開講される授業科目について実施します。

つきましては、アンケート用紙をお送りしますので、下記により実施頂きたく、特段のご協力をお願いします。

記

1. 対象授業科目について

第1学期に開講される農学部専門教育科目について実施します。

- 2. 実施日時•方法等
- (1)実施日時について

授業評価の実施は原則として、講義の最終日にお願いします。

(2)実施方法について

授業を担当している先生方は、授業終了15分前頃にアンケートを学生に配付いただき、 黒鉛筆でしっかりと枠内に記入するよう指示をお願いします。

(3)評価用紙の提出について

アンケート用紙の回収は、学生(1名)に依頼し、所定の封筒に一括して封入し、回収枚数を記入のうえ教務係に提出するよう指示をお願いします。この際、教務係まで学生に同伴するようお願いします。

(4)学生への周知について

学生には、授業評価に協力するよう掲示しています。

- 3. 評価結果の取り扱い
 - (1)評価結果は集計後、統計的分析データを公表します。
 - (2)アンケート用紙は集計後、各担当教員に返却します。
 - (3) 授業個々のデータは、上記趣旨以外に使用されないよう慎重に取り扱います。

農学部実験・実習担当教員 各位

農学部評価室長

学生による実験・実習評価の実施について(依頼)

このことについて、今年度に開講される実験・実習科目について実施します。

つきましては、アンケート用紙をお送りしますので、必要枚数を複写の上、下記により実施頂きたく、 特段のご協力をお願いします。

記

1. 対象実験・実習科目について

今年度(前期および後期)に開講される実験・実習科目について実施します。

- 2. 実施日時•方法等
- (1) 実施日時について

実験・実習評価の実施は原則として、実験・実習の最終日にお願いします。

(2)実施方法について

実験・実習を担当している先生方は、実験・実習終了15分前頃にアンケートを学生に配付いただき、黒鉛筆でしっかりと枠内に記入するよう指示をお願いします。

(3)評価用紙の提出について

アンケート用紙の回収は、学生(1名)に依頼し、所定の封筒に一括して封入し、回収枚数を記入のうえ教務係に提出するよう指示をお願いします。この際、教務係まで学生に同伴するようお願いします。

(4)学牛への周知について

学生には、実験・実習評価に協力するよう掲示しています。

- 3. 評価結果の取り扱い
 - (1)評価結果は集計後、統計的分析データを公表します。
 - (2)アンケート用紙は集計後、各担当教員に返却します。
 - (3)実験・実習個々のデータは、上記趣旨以外に使用されないよう慎重に取り扱います。

平成29年度 農学部授業担当教員 各位

農学部評価室長

平成29年度「学生による授業評価」に関する意見等について(依頼)

今年度に実施いただいた「学生による授業評価」について、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。 第1学期実施分について集計作業が終了いたしましたので、先生方に学生記載のアンケート用 紙と集計結果をお送りいたします。また、担当授業の集計データの他に授業科目全体の平均も同封 いたします。

つきましては、授業評価集計データをもとに、ご担当の授業に関する学生による評価項目を点検 し、代表的な評価項目(1項目ないし2項目)及び主な自由記述内容を挙げていただくとともに、 これらについての意見等を授業評価に関する感想・意見(別紙1)にご記入の上、教務係に2月2 8日(水)までご提出いただくようお願いいたします。

なお、先生方の意見は今後のカリキュラムの改善等に役立てるとともに、評価書冊子に無記名で 掲載させていただきますので、ご承知下さいますようお願いいたします。

農学部評価室

		授業科目名	氏名	
1	. 代表的な評価項目	(1項目ないし2項目)	及び自由記述内容	
L				
2	. 1に対する意見等			

氏名

農学部評価室

平成29年度 農学部授業担当教員 各位

農学部評価室長

平成29年度「学生による実験・実習評価」に関する意見等について(依頼)

今年度に実施いただいた「学生による実験・実習評価」について、ご協力を賜り厚く御礼申し 上げます。

第1学期実施分について集計作業が終了いたしましたので、先生方に学生記載のアンケート用 紙と集計結果をお送りいたします。また、担当実験・実習の集計データの他に実験・実習全体の 平均も同封いたします。

つきましては、評価集計データをもとに、ご担当の実験・実習に関する学生による評価項目を 点検し、代表的な評価項目(1項目ないし2項目)及び主な自由記述内容を挙げていただくとと もに、これらについての意見等を実験・実習評価に関する感想・意見(別紙2)にご記入の上、 教務係に2月28日(水)までご提出いただくようお願いいたします。

なお、先生方の意見は今後のカリキュラムの改善等に役立てるとともに、評価書冊子に無記名 で掲載させていただきますので、ご承知下さいますようお願いいたします。

1	. 代表的な評価項目	(1項目ないし2項目)	及び自由記述内容	
2	. 1に対する意見等			

授業科目名 実験・実習

Ⅱ.学生による農学研究科の授業評価

II. 学生による農学研究科の授業評価

1. アンケートの実施方法

1) 実施概要

学生による農学研究科の授業評価は、博士課程前期 2 年の課程で平成 29 年度 1、2 学期の授業を対象とした。アンケート用紙は選択肢形式の設問 16 項目と自由記述項目からなり、満足度、理解度などを調査する形のものである。

2) 実施方針

- (1) 実施は平成28年度に行われた農学研究科の講義を対象とした。
- (2) 調査の実施は教員の主体性を尊重した。
- (3) アンケート調査は、平成29年6月下旬と平成30年1月に実施した。

3) アンケート作成

- (1) 授業評価実施に関する趣旨説明を掲示するとともにアンケート用紙にも記載して、学生に対して真摯な対応を求めた。
- (2) 設問は授業評価のみにしぼり、カリキュラムや施設等に関する設問は設けなかった。全体集計が可能なように各設問に対する回答は 4 段階評価とし、学部講義、実験・実習の評価と統一した様式で実施した。

4) 実施方法の概要

- (1) 講義については、平成29年6月下旬および平成30年1月の各セメスター終了時の授業時間にアンケート用紙を配布し、回収は学生によって行われた。
- (2) 回収されたアンケート用紙は、学生が封をし、教務係に提出した。
- (3) 教務係では、回収アンケート用紙の学生の氏名部分を切り取り、業者に集計を依頼した。
- (4) 教員には、担当の授業に関する集計結果と全科目平均値集計および回収アンケート用紙を手渡し、アンケート集計結果に対する感想・意見を依頼した。
- (5) 実施対象授業科目ならびにアンケート回答数
 - 平成 29 年度 1 学期は 25 科目、2 学期は 11 科目で実施された。また、履修届者数は 1 学期 454 名、2 学期 295 名、アンケート延べ回答者数は 1 学期 377 名で回収率は 83.0%、2 学期 211 名で回収率は 71.5%であった。

2.アンケートの集計結果の分析(講義)

集計は1学期と2学期にわけて行ったが、分析は両者をまとめつつ、或は比較しながら行った。 集計結果は、全科目の各設問において、選択項目別にその選択割合を算出後、平均値を計算し、授 業評価集計表としてまとめた。また、各質問事項の平均値は、分かりやすいようにレーダーチャー トで表した。

1) アンケート項目

- 設問①:あなたはこの講義にどの程度出席しましたか。
- 設問②:あなたにとって、講義内容の難易度は適切なものでしたか。
- 設問③:質問や発言などにより、あなたは積極的に取り組みましたか。
- 設問④:講義に関する内容について、自主的に学習をしましたか。
- 設問⑤:シラバスは、講義の目的、内容、成績評価の基準が適切に示されるなど有用でしたか。
- 設問⑥:講義の内容はシラバスの内容と対応していましたか。
- 設問⑦:あなたは講義により知的な刺激を受け、さらに関連する分野を学んでみたいと思いましたか。
- 設問⑧:視聴覚、情報機器等を使用する講義の場合、使い方は効果的でしたか。
- 設問⑨:テキストやプリントなどの教材は講義内容を理解するのに役立ちましたか。
- 設問⑩:教員の声、話し方は聞き取りやすかったですか。
- 設問⑪:理解すべき重要な箇所が強調されるなど、講義はわかりやすかったですか。
- 設問⑫:教員は学生に講義への参加(質問、発言、自主的学習など)を促し、質問や討論に充分に対応 していましたか。
- 設問⑬:この講義のオフィスアワーは利用上適切に設定されていますか。
- 設問⑭:あなたにとって、講義の進度は適切なものでしたか。
- 設問(5):講義に対する教員の熱意を感じましたか。
- 設問⑩:総合的に判断して、この講義に満足しましたか。

2) 集計結果、集計表、感想と意見

○集計結果の分析概要と集計表

各設問に対する集計結果の分析概要は以下の通りである。

設問①:出席状況を問う設問である。80%以上出席としたものが、1 学期、2 学期ともに 95%以上であり高水準である。

設問②~④:講義の難易度と学生の講義に対する取り組みを問う設問である。1、2 学期とも 95%程度の学生が講義の難易度をおおむね適切であったとしている。質問や発言による積極的な取り組みをした学生の 1 学期は 67%、2 学期は 70%、自主的に学習した学生の 1 学期は 69%、2 学期は 75%と昨年度と比べて高い値となっている。

設問⑤、⑥:シラバスの有用性と、その実際の講義との対応を問う設問である。シラバスに講義の目的、 内容、成績評価基準が適切に示され有用であるとした学生は両学期とも約 95%と高かった。また、講義 内容のシラバスとの対応についても両学期とも 97%の学生が対応していたとしている。

設問⑦:講義から知的刺激を受けたかどうかに関する設問である。知的刺激を受けたと感じた学生は1 学期は94%、2 学期は93%であった。

設問⑧、⑨:講義で使われる機器や教材の有用性に関する設問である。教材が役立ったとした学生は

1学期は95%であったが、2学期は88%とやや低かった。

設問⑩~⑫:教員の講義の仕方に関する設問である。1、2 学期ともに 99%の学生が教員の声や話し方が聞き取りやすかった、ないしは概ね聞き取りやすかったと感じている。また、講義の組み立てに関しても 95%程度の学生が分かりやすさについて良好な評価を行っている。自主学習を促す指導と討議への対応に関しては、1 学期は 93%、2 学期は 95%の学生が良好な評価を行っている。

設問・③・オフィスアワーの設定、講義の進度、教員の熱意に関する設問である。1、2学期を通して約 95%の学生がオフィスアワーの設定が適切であると感じている。講義の進度に関しては 98%の学生が適切だとしており、教員の熱意も 99%の学生が感じ取っている。

設問⑯:講義の満足度を問う設問である。両学期とも 95%以上の学生が満足ないしはある程度満足したと回答している。

設問事項全体の分析を通して、以下に評価の高い点と、改善すべき点についてまとめた。 【評価の高かった点】

- ① 難易度の設定が適切であった。
- ② 質問や発言による積極的な取り組みをした学生や、自主的に学習した学生の割合が改善されていた。
- ③ シラバスの有用性と、その実際の講義との対応の評価が高かった。
- ④ 教員の声、話し方が聞き取りやすく、かつわかりやすかった。
- ⑤ 進度、教員の熱意、満足度についても評価が高かった。

【改善を要する点】

- ① 質問や発言などによる積極的な取り組みをあまりしなかった学生も依然として3割程度存在した。
- ② 講義に関する自主的な学習をあまりしない、あるいは全くしない学生も2~3割いた。

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果(平成29年1学期) 時間割コード : AM00000

時間割コード: AM00000授業科目名: 全科目合計

担当教員名 :

質問事項		選択項目	回答	比率 %	
	4	90%以上	337	89.4	1.出席
1. あなたはこ の講義にどの 程度出席しまし たか。	3	80%~90%未満	29	7.7	3
	2	70%~80%未満	7	1.9	
	1	70%未満	4	1.1	4
		未記入	0	0.0	
	4	適切であった	215	57.0	
2. あなたに	3	概ね適切であった	143	37.9	
とって、講義内容の難易度は 適切なものでし	2	あまり適切でなかった	19	5.0	3
たか。	1	全く適切でなかった	0	0.0	
		未記入	0	0.0	
	4	極めて積極的に取り組ん だ	94	24.9	3. 積極性 未記入
3. 質問や発言	3	積極的に取り組んだ	160	42.4	
などにより、あ なたは積極的 に取り組みまし	2	あまり積極的に取り組まな かった	105	27.9	
たか。	1	全く積極的に取り組まな かった	17	4.5	3
		未記入	1	0.3	
	4	学習した	100	26.5	
4. 講義に関す	3	ある程度学習した	160	42.4	
る内容につい て、自主的に 学習をしました	2	あまり学習しなかった	96	25.5	
か。	1	全く学習しなかった	20	5.3	3
		未記入	1	0.3	

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果(平成29年1学期) 時間割コード : AM00000

時間割コード: AM00000 授業科目名: 全科目合計

質問事項		選択項目	回答	比率 %	
	4	有用であった	214	56.8	5. シラバスの有用性 2 未記入
5. シラバス は、講義の目	3	概ね有用であった	148	39.3	
的、内容、成 績評価の基準 が適切に示さ	2	あまり有用でなかった	11	2.9	3 4
れるなど有用 でしたか。	1	全く有用でなかった	3	0.8	
		未記入	1	0.3	
	4	対応していた	219	58.1	6. シラバスとの整合性 2 1
6. 講義の内容	3	概ね対応していた	147	39.0	
はシラバスの 内容と対応し	2	あまり対応していなかった	7	1.9	3 4
ていましたか。	1	全く対応していなかった	4	1.1	
		未記入	0	0.0	
	4	思った	190	50.4	7. 学習意欲 1
 あなたは講 義により知的な 	3	ある程度思った	163	43.2	
刺激を受け、さ らに関連する 分野を学んで	2	あまり思わなかった	21	5.6	3 4
みたいと思いま したか。	1	全く思わなかった	3	0.8	
		未記入	0	0.0	
	4	効果的だった	212	56.2	8. 講義メディア 未記入
8. 視聴覚、情 報機器等を使	3	ある程度効果的だった	137	36.3	
用する講義の 場合、使い方	2	あまり効果的でなかった	12	3.2	3 4
は効果的でしたか。	1	全く効果的でなかった	0	0.0	
		未記入	16	4.2	

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果(平成29年1学期) 時間割コード : AM00000

時間割コード : AM00000 授業科目名 : 全科目合計

担当教員名 :

質問事項		選択項目	回答	比率 %	
	4	役立った	229	60.7	9. 教材 2 1 未記入
9. テキストや プリントなどの	3	ある程度役立った	130	34.5	
教材は講義内 容を理解する	2	あまり役立たなかった	10	2.7	3 4
のに役立ちまし たか。	1	全く役立たなかった	1	0.3	
		未記入	7	1.9	
	4	聞き取りやすかった	269	71.4	10. 説明の仕方 2
10. 教員の	3	概ね聞き取りやすかった	105	27.9	3
声、話し方は 聞き取りやす	2	多少聞き取りにくかった	3	0.8	
かったですか。	1	聞き取りにくかった	0	0.0	4
		未記入	0	0.0	
	4	わかりやすかった	209	55.4	11. 講義の組立て
11. 理解すべき重要な箇所	3	概ねわかりやすかった	147	39.0	
が強調される など、講義は	2	多少わかりにくかった	20	5.3	3 } 4
わかりやすかっ たですか。	1	わかりにくかった	1	0.3	
	3	未記入	0	0.0	
	4	対応していた	220	58.4	12. 学生対応
12. 教員は学 生に講義への 参加(質問、発	3	ある程度対応していた	130	34.5	
言、自主的学 習など)を促 し、質問や討	2	あまり対応していなかった	21	5.6	
論に充分に対 応していました か。	1	全く対応していなかった	3	0.8	4
W-0		未記入	3	0.8	

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果(平成29年1学期) 時間割コード : AM00000

時間割コード: AM00000授業科目名: 全科目合計

質問事項		選択項目	回答	比率 %	
	4	適切である	207	54.9	13. オフィスアワー 2 未記ノ
13. この講義	3	ほぼ適切である	153	40.6	
のオフィスア ワーは利用上 適切に設 定さ	2	あまり適切でない	4	1.1	3 }
れていますか。	1	適切でない	1	0.3	
		未記入	12	3.2	
	4	適切であった	224	59.4	14. 講義の進度 2 未記ノ
14. あなたに	3	概ね適切であった	145	38.5	
とって、講義の 進度は適切な		あまり適切でなかった	7	1.9	3 4
ものでしたか。	1	全く適切でなかった	0	0.0	
		未記入	1	0.3	
	4	感じた	262	69.5	15. 教員の熱意 2 1
15. 講義に対	3	ある程度感じた	110	29.2	3
する教員の熱 意を感じました		あまり感じなかった	4	1.1	4
か。	1	全く感じなかった	1	0.3	
		未記入	0	0.0	
	4	満足した	246	65.3	16. 総合判断 2 未記入
16. 総合的に	3	ある程度満足した	121	32.1	
判断して、この 講義に満足し ましたか。	2	あまり満足しなかった	9	2.4	
<i>まいだが</i> 。	1	全く満足しなかった	0	0.0	
		未記入	1	0.3	

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果(平成29年2学期) 時間割コード : AM00000

時間割コード : AM000000 授業科目名 : 全科目合計

担当教員名 :

質問事項		選択項目	回答	比率 %		
	4	90%以上	178	84.4	1.出席	2
 あなたはこ 	3	80%~90%未満	25	11.8		3
の講義にどの 程度出席しまし	2	70%~80%未満	4	1.9		
たか。	1	70%未満	4	1.9		4
		未記入	0	0.0		
	4	適切であった	110	52.1	2. 難易度	2
2. あなたに	3	概ね適切であった	93	44.1		
とって、講義内容の難易度は 適切なものでし	2	あまり適切でなかった	8	3.8		3 4
たか。	1	全く適切でなかった	0	0.0		
		未記入	0	0.0		
	4	極めて積極的に取り組ん だ	55	26.1	3. 積極性	
3. 質問や発言	3	積極的に取り組んだ	92	43.6		
などにより、あ なたは積極的 に取り組みまし	2	あまり積極的に取り組まな かった	54	25.6		
たか。	1	全く積極的に取り組まな かった	10	4.7		3
		未記入	0	0.0		
	4	学習した	62	29.4	4. 自主学習	
4. 講義に関す	3	ある程度学習した	96	45.5		2 1 4
る内容につい て、自主的に 学習をしました	2	あまり学習しなかった	41	19.4		4
か。	1	全く学習しなかった	12	5.7		3
		未記入	0	0.0		

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果(平成29年2学期) 時間割コード : AM00000

時間割コード : AM00000 授業科目名 : 全科目合計

質問事項		選択項目	回答	比率 %	
	4	有用であった	113	53.6	5. シラバスの有用性 1
5. シラバス は、講義の目	3	概ね有用であった	87	41.2	
的、内容、成 績評価の基準 が適切に示さ	2	あまり有用でなかった	9	4.3	3 }
れるなど有用 でしたか。	1	全く有用でなかった	2	0.9	
		未記入	0	0.0	
	4	対応していた	117	55.5	6. シラバスとの整合性 21
6. 講義の内容	3	概ね対応していた	88	41.7	
はシラバスの 内容と対応し	2	あまり対応していなかった	4	1.9	3
ていましたか。	1	全く対応していなかった	2	0.9	
		未記入	0	0.0	
	4	思った	97	46.0	7. 学習意欲 1
 あなたは講 義により知的な 	3	ある程度思った	100	47.4	
刺激を受け、さ らに関連 する 分野を学んで	2	あまり思わなかった	11	5.2	3
みたいと思いま したか。	1	全く思わなかった	3	1.4	
		未記入	0	0.0	
	4	効果的だった	127	60.2	8. 講義メディア 2 未記入
8. 視聴覚、情 報機器等を使	3	ある程度効果的だった	73	34.6	
用する講義の 場合、使い方	2	あまり効果的でなかった	3	1.4	3 4
は効果的でしたか。	1	全く効果的でなかった	0	0.0	
		未記入	8	3.8	

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果 (平成29年2学期)

時間割コード : AM00000 授業科目名 : 全科目合計

担当教員名 :

質問事項		選択項目	回答	比率 %	
	4	役立った	105	49.8	9. 教材 2 未記入
9. テキストや プリントなどの	3	ある程度役立った	80	37.9	
教材は講義内 容を理解する	2	あまり役立たなかった	7	3.3	4
のに役立ちまし たか。	1	全く役立たなかった	0	0.0	
		未記入	19	9.0	
	4	聞き取りやすかった	136	64.5	10. 説明の仕方 2 1
10. 教員の		概ね聞き取りやすかった	72	34.1	
声、話し方は 聞き取りやす	2	多少聞き取りにくかった	2	0.9	3 4
かったですか。	1	聞き取りにくかった	1	0.5	
		未記入	0	0.0	
	4	わかりやすかった	97	46.0	11. 講義の組立て 1 未記入
11. 理解すべき重要な箇所	3	概ねわかりやすかった	101	47.9	
が強調される など、講義は	2	多少わかりにくかった	10	4.7	3
わかりやすかっ たですか。	1	わかりにくかった	2	0.9	
	3	未記入	1	0.5	
10 ***	4	対応していた	120	56.9	12. 学生対応
12. 教員は学 生に講義への 参加(質問、発	3	ある程度対応していた	81	38.4	
言、自主的学 習など)を促 し、質問や討		あまり対応していなかった	9	4.3	3 4
論に充分に対 応していました か。		全く対応していなかった	1	0.5	
N-0		未記入	0	0.0	

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果(平成29年2学期)

時間割コード : AM00000 授業科目名 : 全科目合計

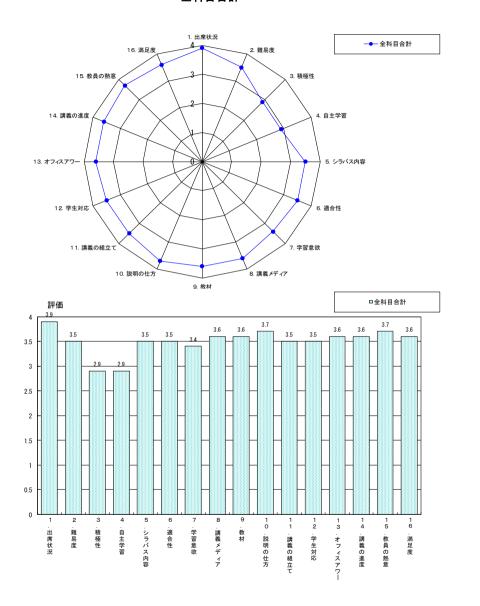
質問事項		選択項目	回答	比率 %	
	4	適切である	115	54.5	13. オフィスアワー 2 未記入
13. この講義 のオフィスア	3	ほぼ適切である	83	39.3	
のオフィスア ワーは利用上 適切に設定さ	2	あまり適切でない	5	2.4	3 4
れていますか。	1	適切でない	1	0.5	
		未記入	7	3.3	
	4	適切であった	113	53.6	14. 講義の進度 2
14. あなたに	3	概ね適切であった	94	44.5	
とって、講義の 進度は適切な	2	あまり適切でなかった	4	1.9	3 4
ものでしたか。	1	全く適切でなかった	0	0.0	
		未記入	0	0.0	
	4	感じた	128	60.7	15. 教員の熱意 2
15. 講義に対	3	ある程度感じた	80	37.9	
する教員の熱 意を感じました	2	あまり感じなかった	3	1.4	3 4
か。	1	全く感じなかった	0	0.0	
		未記入	0	0.0	
	4	満足した	107	50.7	16. 総合判断 2 1
16. 総合的に	3	ある程度満足した	93	44.1	
判断して、この 講義に満足し	2	あまり満足しなかった	8	3.8	3 4
ましたか。	1	全く満足しなかった	3	1.4	
		未記入	0	0.0	

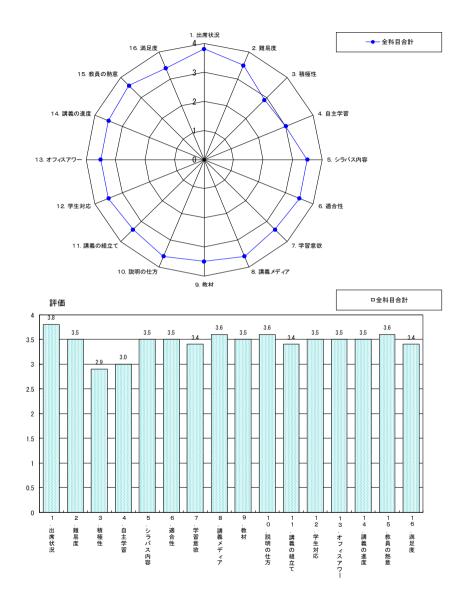
○全科目の集計結果と集計表

各設問に対する4段階評価の全科目平均値の結果をレーダーチャートで図示した。出席状況が1学期、2学期とも最も高く、3.9 および3.8 であった。他にも、講義メディアの活用、説明の仕方、教員の熱意が特に高く、両学期とも3.5 を超える評価であった。一方、積極性、自主学習については3以下であり、やや評価が低かった。その他の項目は3.4~3.6 と評価が高かった。

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケー |集計結果 平成29年1学期) 全科目合計

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果 平成29年2学期) 全科目合計

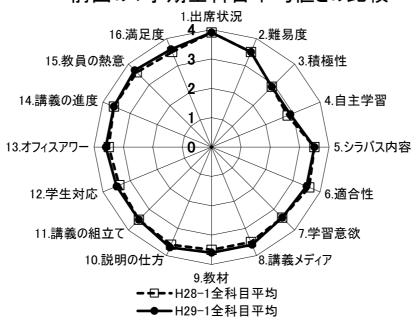




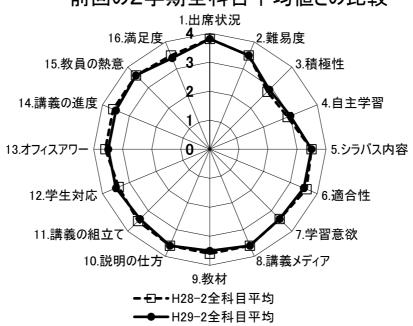
○前回の授業評価との比較

アンケートは内容、設問数ともに前回(平成28年度実施)と同じである。アンケートは内容、設問数ともに前回(平成28年度実施)と同じである。1学期、2学期とも前回と大きな変化はないようである。

前回の1学期全科目平均値との比較



前回の2学期全科目平均値との比較



3. 参考資料

- 1) 東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート用紙(平成29年度)
- 2) 授業評価実施科目表(科目別受講者数およびアンケート回収率)(平成29年度)
- 3)「学生諸君へ」農学研究科の学生による授業評価の実施について
- 4)「授業担当教員」農学研究科学生による授業評価の実施について
- 5)「農学研究科授業担当教員」「大学院学生による授業評価」に関する意見等について

質問用紙			
専攻	学年	氏名	
		なり線	
講義名	担当教員名		
東北大学力	マ学院農学研究科	の講義に関するアンケート	
このアンケートは農学研究科の講義	の改善に学生諸君の音見る	を生かそうとするものです。率直かつ真摯な回	答を期待しま
す。 質問について、回答は該当する番号	を記入して下さい。また、記 者の不利益とならないよう	記述質問について、あなたの意見を自由に書い、集計は氏名欄を切り離して行います。	
【あなた自身についての質問】 1. あなたはこの講義にどの程度出席	:1 よ) よみ、		記入欄
1. めなだはこの再義にとの往及田所(4:90%以上, 3:80%~90%未満, 2:		(1)	
2. あなたにとって、講義内容の難易	- ACCU - FULL DECISION - 110a0 - 100a0		
(4: 適切であった, 3: 概ね適切であった,	2:あまり適切でなかった, 1:	:全く適切でなかった)	
3. 質問や発言などにより、あなたは利			
	180 VOLUME TO 100 VOLUME TO 10	的に取り組まなかった, 1:全く積極的に取り組まなかっ	*)
 講義に関する内容について、自主 (4:学習した, 3:ある程度学習した, 2: 		学習しなかった)	
CARROLLE 2007 40 32000 CENTUS GRADULTE			
【講義と教員についての質問】 5. シラバスは、講義の目的、内容、成	- 外表で在かせ、海ぶが大口にこ	ニナムフなど大田でしたよ	記入機
(4: 有用であった, 3: 概ね有用であった,		and the second control of the second control	
6. 講義の内容はシラバスの内容と対	D 01 TH 10 TH 1		
(4:対応していた、3:概ね対応していた、	2:あまり対応していなかった。	1:全く対応していなかった)	
7. あなたは講義により知的な刺激を	pan		
(4: 思った, 3: ある程度思った, 2: あまっ 知味学 ほねが 明然さん ロルフ	SERVICE SERVICE AND POSICE OF SE RESULTANCE.		
 視聴覚、情報機器等を使用する請 (4:効果的だった、3:ある程度効果的だ 			
COUNTY NOT ANY ANY AND AND AND AND ANY AND AND ANY AND AND ANY	made a revenue conceptat or see to some	立ちましたか。(ない場合は記入不要)	-
(4: 役立った, 3: ある程度役立った, 2:	Man 2 M		
10. 教員の声、話し方は聞き取りやす	かったですか。	A. C.	
(4: 聞き取りやすかった, 3: 概ね聞き取り	THE CASE CLUSTER AND CHILDREN WHITE THE CASE CASE CASE CASE CASE CASE CASE CAS	2179040 Justin 2000 1000000 Arra 2007 Arra 1000000	
11. 理解すべき重要な箇所が強調さ	mil an incommunity of the first of	Total and the second control of the second c	
(4:わかりやすかった, 3:概ねわかりやす	and the second of the second o	た。『:わかんにくかった) :促し、質問や討論に充分に対応していました/	<u></u>
12. 教員は子生に講義への参加(質問 (4:対応していた, 3:ある程度対応して)			y 70
13. この講義のオフィスアワーは利用		N 1 12 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	$\neg \vdash \vdash$
(4: 適切である、 3:ほぼ適切である、 2:			
14. あなたにとって、講義の進度は適			
(4: 適切であった, 3: 概ね適切であった,	2) U U	:全く適切でなかった)	
15. 講義に対する教員の熱意を感じ			[1]
(4: 感じた, 3:ある程度感じた, 2:あま)	WHEN THE PERSON AND T	³ つた)	-
16. 総合的に判断して、この講義に満	DE しましたか。		- 11

【記述欄】この講義に関して、「よい点」と「改善すべき点」に分けて自由に書いて下さい。 用紙が不足する場合は裏面を利用して下さい。

・よい点

・改善すべき点

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果 (平成29年度1学期)

	-	和木 〒以23千段 子別/			
時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率	
AM 00000	全科目合計	377	454	83.0%	
AM 1111	水圏植物生態学特論	5	5	100.0%	
AM 1131	水圏資源生態学特論	11	14	78.6%	
AM 1132	草地科学特論	14	19	73.7%	
AM 1141	フィール ド社会技術学特論	16	17	94.1%	
AM 1151	水圏動物生理学特論	1	1	100.0%	
AM 1222	組織細胞機能学特論	21	22	95.5%	
AM 1223	食品機能開発学特論	40	48	83.3%	
AM 1231	火山灰土壌学特論	9	10	90.0%	
AM 1241	国際開発学特論	10	11	90.9%	
AM 1251	食・農アセスサイエンス	19	19	100.0%	
AM 1332	栽培植物環境科学特論	19	20	95.0%	
AM 1341	植物生命科学合同講義	40	43	93.0%	
AM 1351	水圏生物生産科学合同講義	10	17	58.8%	
AM 1411	環境適応生物工学特論	13	14	92.9%	
AM 1421	水産資源化学特論	4	4	100.0%	
AM 1422	動物微生物学特論	17	19	89.5%	
AM 1431	動物生理科学特論	9	15	60.0%	
AM 1432	植物細胞生化学特論	3	3	100.0%	
AM 1512	動物栄養生化学特論	2	2	100.0%	
AM 1524	植物病態生理学特論	9	9	100.0%	
AM 1551	実践科学英語	7	12	58.3%	
AM 1602	生命機能物質分析特論	16	17	94.1%	
AM 1606	災害復興合同講義 Ⅱ	12	22	54.5%	
AM 1705	農業水産政策学特論	14	26	53.8%	
AM 1706	応用遺伝子工学特論	56	65	86.2%	

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果 平成29年度2学期)

時間割コード	科目名	アンケー ト提出者数	受講者数	回収率
AM 00000	全科目合計	211	295	71.5%
AM 1523	栄養生理学特論	19	30	63.3%
AM 2101	Food & Agricultural Immuno bgy	24	28	85.7%
AM 2131	水圏資源動態学特論	15	16	93.8%
AM 2221	生物資源利用学	27	45	60.0%
AM 2241	天然物生命化学特論	16	17	94.1%
AM 2251	先端産業開発論	32	45	71.1%
AM 2332	生物海洋学特論	7	7	100.0%
AM 2422	生物制御機能学特論	8	12	66.7%
AM 2432	農業経営経済学特論	9	15	60.0%
AM 2511	植物育種学特論	8	13	61.5%
AM 2601	生命共生科学	35	52	67.3%
AM 2702	複合生態フィール ト制御学特論	6	9	66.7%
AM 3201	天然物合成化学特論	5	6	83.3%

学生諸君へ

農学研究科の学生による授業評価の実施について

平成29年度第1学期に開講される授業科目について、下記のとおり学生による 授業評価を実施します。

この授業評価は、農学研究科の授業と教育システムを改善するための参考資料となるものであり、学生諸君の授業に対する考えを把握することにより、今後の授業改善につながることが期待されます。

学生諸君全員の理解と協力をお願いします。

記

- 1. 対象授業科目について 第1学期に開講される授業科目(前期課程対象)について実施します。
- 2. 実施方法

授業中に授業担当教員からアンケート用紙が配付されるので、黒鉛筆で記 入し、授業担当教員から依頼された学生が用紙を回収し、教務係に提出して 下さい。

3. 評価結果の取り扱い

この評価結果は集計の後公表し、今後の農学研究科の授業改善の参考となります。

平成29年5月

農学研究科長

農学研究科授業担当教員 各位

農学研究科評価室長

学生による授業評価の実施について(依頼)

このことについて、第1学期に開講される授業科目について実施します。 つきましては、アンケート用紙をお送りしますので、下記により実施頂きたく、特段のご協力をお願いします。

記

1. 対象授業科目について

第1学期に開講される農学研究科授業科目(前期課程)について実施します。 数二関らず全科目が対象となります。 ただし、全学で実施している合同講義の読替え科目については対象となりませんので、 その場合は教務係までご連絡願います。

- 2. 実施日時•方法等
- (1)実施日時について

授業評価の実施は原則として、講義の最終日にお願いします。

(2)実施方法について

授業を担当している先生方は、授業終了15分前頃にアンケートを学生に配付いただき、黒鉛筆でしっかりと枠内に記入するよう指示をお願いします。

(3)評価用紙の提出について

アンケート用紙の回収は、学生(1名)に依頼し、所定の封筒に一括して封入し、回収枚数を記入のうえ教務係に提出するよう指示をお願いします。この際、教務係まで学生に同伴するようお願いします。

- (4)学生への周知について 学生には、授業評価に協力するよう掲示しています。
- 3. 評価結果の取り扱い
- (1)評価結果は集計後、統計的分析データを公表します。
- (2)アンケート用紙は集計後、各担当教員に返却します。
- (3)授業個々のデータは、上記趣旨以外に使用されないよう慎重に取り扱います。

農学研究科評価室

平成29年度 農学研究科授業担当教員 各位

農学研究科評価室長

平成29年度「大学院学生による授業評価」に関する意見等について(依頼)

今年度に実施いただいた「大学院学生による授業評価」について、ご協力を賜り厚く御 礼申し上げます。

第1学期実施分について集計作業が終了いたしましたので、先生方に学生記載のアンケート用紙と集計結果をお送りいたします。また、担当授業の集計データの他に授業科目全体の平均も同封いたします。

つきましては、授業評価集計データをもとに、ご担当の授業に関する大学院学生による 評価項目を点検し、代表的な評価項目(1項目ないし2項目)及び主な自由記述内容を挙 げていただくとともに、これらについての意見等を授業評価に関する感想・意見(別紙3) にご記入の上、教務係に2月28日(水)までご提出いただくようお願いいたします。

なお、先生方の意見は今後のカリキュラムの改善等に役立てるとともに、評価書冊子に 無記名で掲載させていただきますので、ご承知下さいますようお願いいたします。

			授業科目名	1	氏名		
1.	代表的な評価項目	(1項目ないし	,2項目)人	なび目由記述	内容		
2.	1に対する意見等						

学生による授業評価アンケート実施結果報告書

2019年3月

編 集:東北大学大学院農学研究科評価室・評価委員会

評価室長 鳥山 欽哉

評価委員会 尾定 誠 ② 金山 喜則

○ 佐藤 正寛 大越 和加

桑原 重文 〇 青木 優和

井元 智子 菅野 均志

北柴 大泰 深澤 充

石田 宏幸 中嶋 正道

北澤 春樹 横井 勇人

評価室員 小野寺 和彦 小出 雅嗣

(◎学生授業評価専門委員会委員長、○同専門委員会委員)

発 行:東北大学大学院農学研究科

〒980-8572 葉区荒巻字 468-1

Tel: 022-757-4003 Fax: 022-757-4020